

義父と同居

幸せな新婚生活を送るはずだったのに

することになった



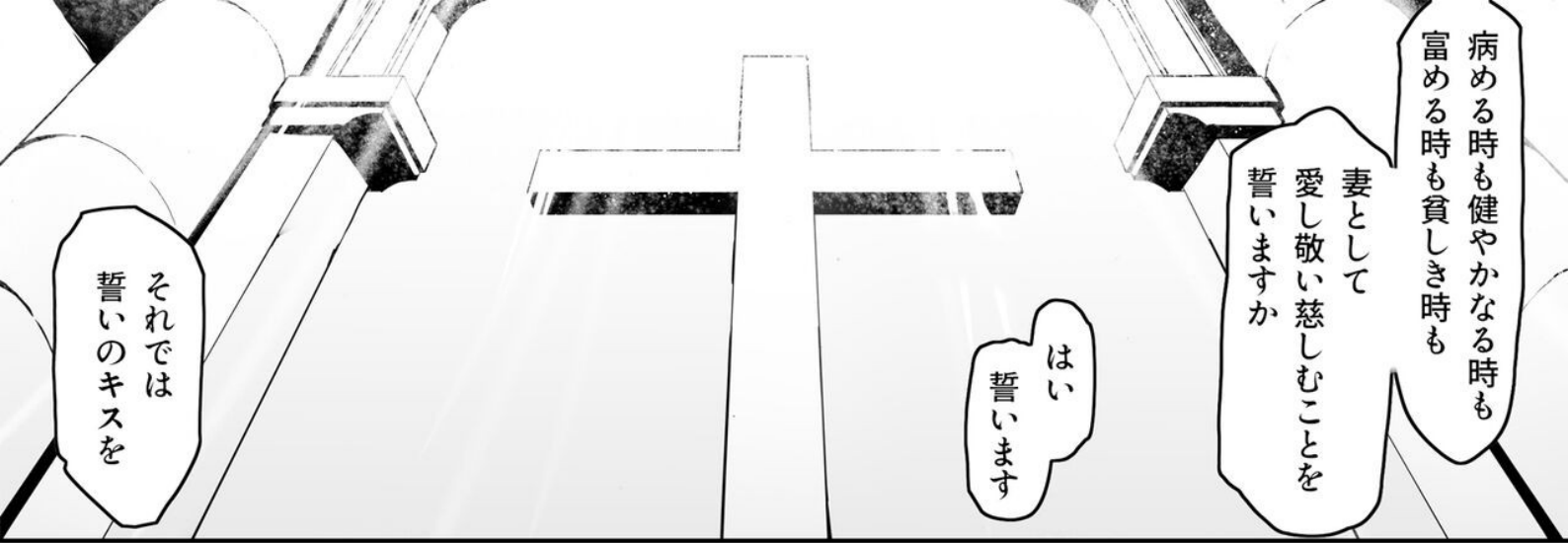


幸せな新婚生活を送るはずだったのに

義父と同居

することになった

第一話



病める時も健やかなる時も
富める時も貧しき時も

妻として
愛し敬い慈しむことを
誓いますか

はい
誓います

それでは
誓いのキスを



綾美

裕樹くん

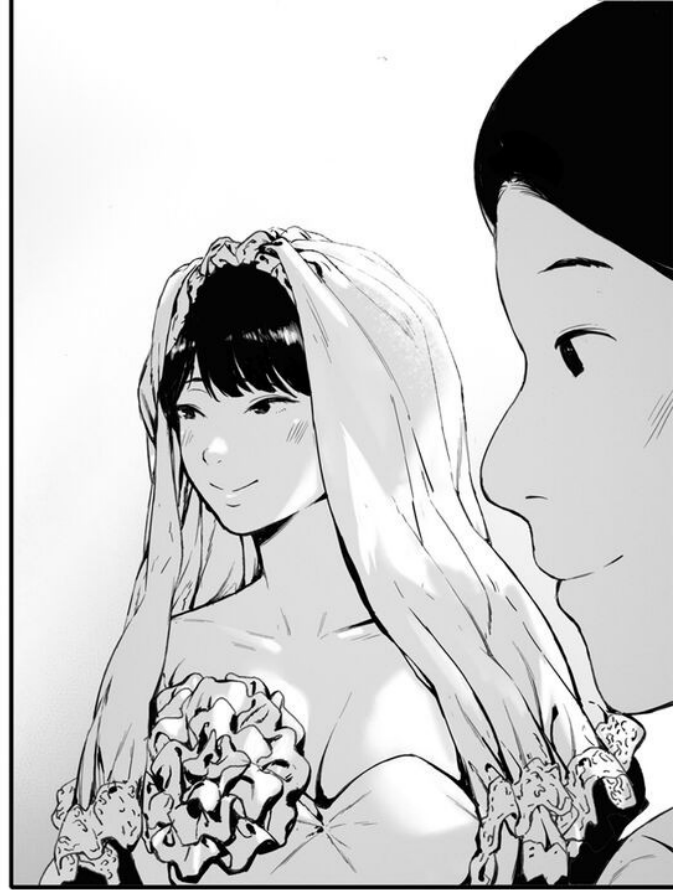
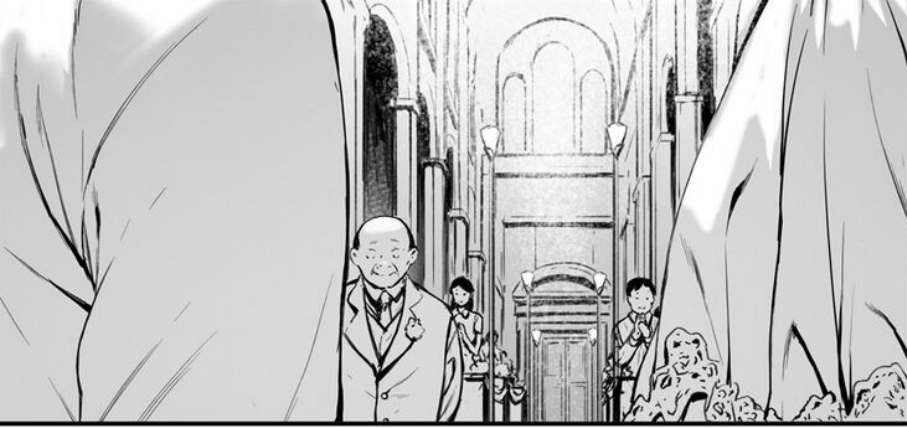


パチ

パチ

パチ

パチ



えっ…お義父さん
私のこと…見てる？

私…お義父さん…
苦手なんだよな…



どうしたの？

えっ…ううん

こんなに人が多いのに
慣れていないだけ

だめよ！こんな時に…
これから会う機会なんて
ほとんどないんだから…



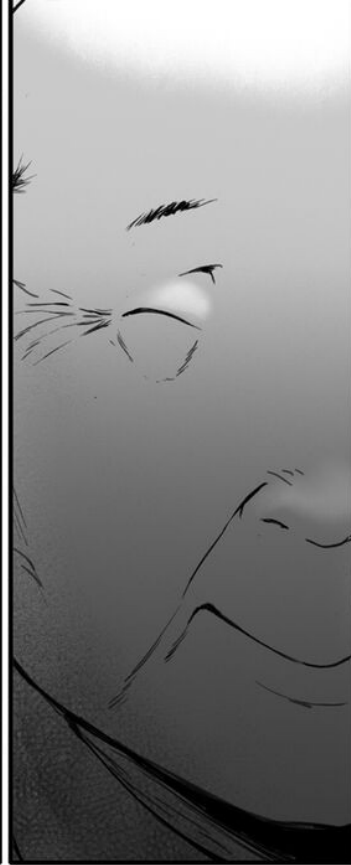
もう少し我慢して
そのあとは
二人っきりだよ

はい…
あなた





とにかく…いやよ…
何とかならないの！



お義父さんのことは
本当に苦手って…
知ってるでしょう

でも…



父もただここに
居候するわけ
じゃないんだ
ちゃんと生活費を
くれるんだよ

あのね…



…



…



それは…

やっぱり…
こうなるのか…



分かってくれ…

今はしょうがないんだ

分かってる
私も悪いのよ

株なんか手を
出してしまつて…

そんな意味じゃないんだ
僕も分かつてるの

僕の負担を減らそうとして
くれてるのよね

もっと僕がお金が
稼げればいいのに…
全部僕のせいよ

……

…三ヶ月だけでいいんだ
俺も仕事頑張るよ

そしたら父にも
旅行にでも行って
もらえるし…
な？

それにおやじ
株詳しいから
損した分取り戻せる
かもしれないよ…

なんでもやるから…

頼むよ…

やっぱり…
断れないか…



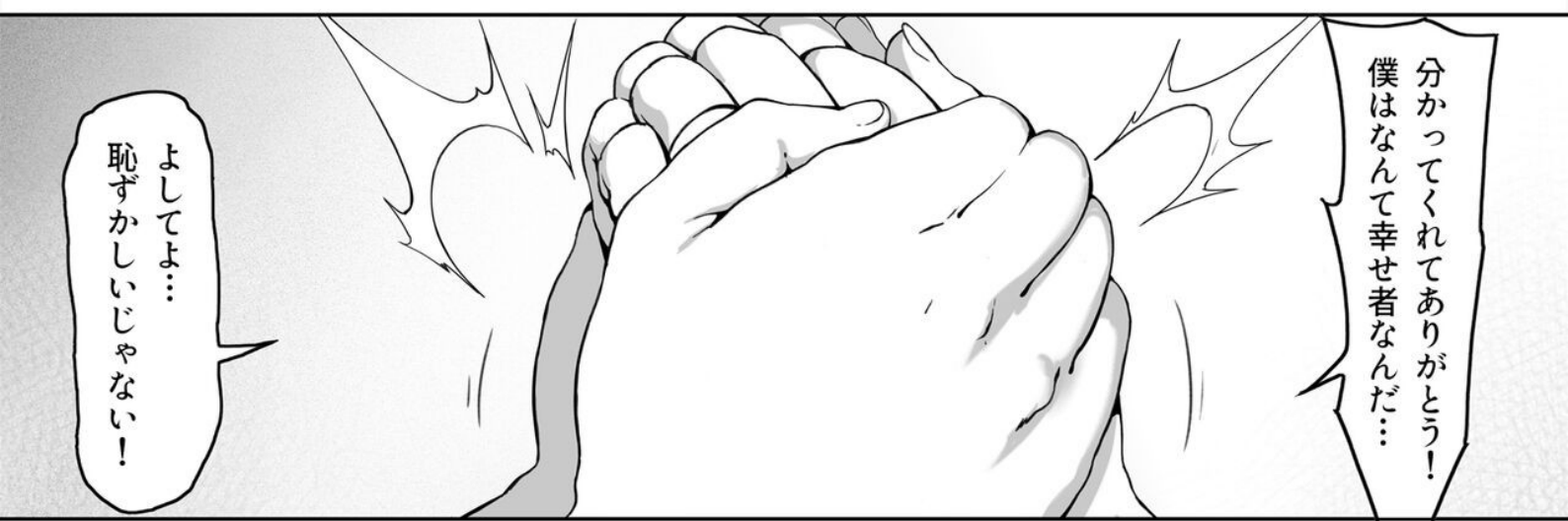
分かったわ
でもね…

あとで褒美よろしくね!

綾美!



私も大人にならなくちゃ



分かってくれてありがとう!
僕はなんて幸せ者なんだ…

よしてよ…
恥ずかしいじゃない!



せめて今の二人だけの
時間を大切にしよう

うん!



はっ…はっ…
気持ちいい…

私も…はっ…
気持ちいい…

はっ

はっ

はっ

は…もう…
いきそうだ…



あっ…私も…
このまま…中に…ください

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ



綾美…はあ…っ！

あぁ…っ



じゃあ…寝ようか…

うん…

妊娠したら
なにかが変わると思った



ふう…はあ…

このまま…時が止まって
しまえばいいのに…

三ヶ月の辛抱だ
頑張ろう…

でも妊娠しても
結果は同じね

数日後

綾美

オヤジが来たよ

いらっしやいませ
お義父さん

すまん

いきなりこんなオヤジの
面倒みることになってしまった

心の準備はしていたつもりだったけど…
やっぱり無理だ…

手伝いだってするよ

いいよ
俺はまだまだ力いっぱい
だよ…ほら

だから…
無理しないでよ

いいえ
こちらこそ
お世話になって
おります

できるだけ二人の邪魔は
しないようにするから

なんでだろう…
お義父さん…怖い…

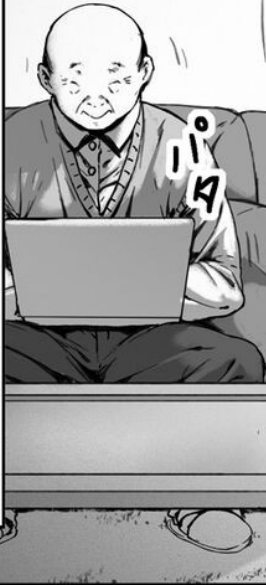
こうして
義父との同居が始まった



お義父さんが起きてくるのは
裕樹くんが出勤した後だから
朝ご飯を一緒にしなくていいのが幸いだ

ヤ

そして株の時間はソファでパソコンと
向き合っていた
どうやら株のことは上手くやってみて



クウウ

お義父さんは一階の小部屋でいいと
言ったが

裕樹くんは私たちの
隣の部屋に決めた



だから夕飯の時に適当に
話に付き合うだけでいい

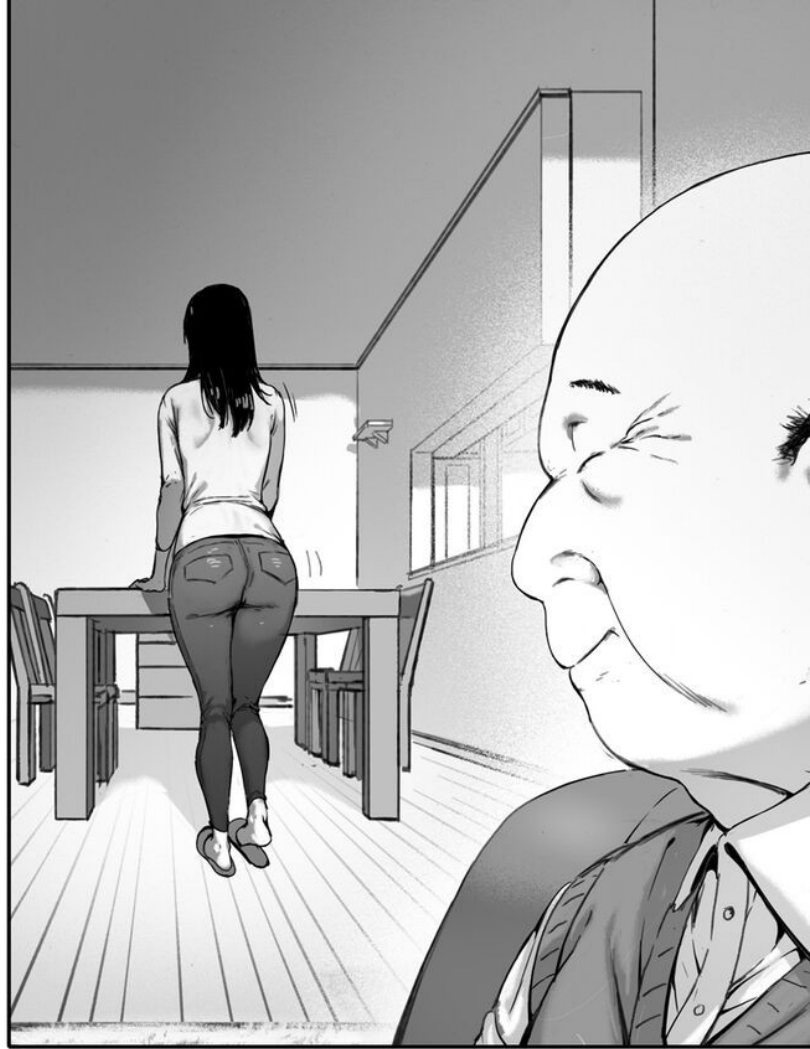
うん...まあ...中年オヤジ
なんてこういうもんよね...
私ちょっと自意識過剰かな



私の悪い癖
外見だけで人を
判断してはダメよね

今のところ
あの視線以外は大丈夫





さっさと家事を終わらせて
部屋に逃げ込もう



…また…
こっち見てる…

ああ…
この時間が一番嫌だ



大変そうだな

手伝おうか?

ヤバい…話しかけられた
逃げなきゃ

いいんです
もうすぐ終わりますから

いや
家事ではなく
借金のことだが

えっ!?

借金?
何のことですか?

裕樹からちよっと
聞いたんだが

投資に失敗したんだって?

裕樹くん!

裕樹から話を聞いて
ちよっと変だなと思って

ここ数日こっそり
観察してたんだ

だれかから裏情報を聞きつけて
株を買ってみたものの

ちよっと儲かったと思ったら
すぐにつき込んだ資金が
一気に吹っ飛んだみたいなの…

裕樹にも言えなくて
損した分取り返そうと思って
お金を借りてまた株を買って
結局借金だけが膨らんだ

今は借金で普通に生活してるふりを
してるんだろう?

そんなことは…

完全に見抜かれてる…
なんでそこまで?



数字は嘘をつかないよ
それにこういうことは株の取引では
よくあることだ

……



おいおい……まるで俺が
脅迫してるみたいじゃないか

俺だって結婚したばかりの
息子が金に困っているのを
ほっとけないんだ

俺にも手伝わせてくれよ



ごめんなさい
確かにお義父さんが
おっしゃる通りです
裕樹くんには言わないで
おいてくださいませか

必ず何とかします
彼にこれ以上負担を
かけたくないんです



ああ
もちろん

俺の手助けが
必要だろう？



え……いいんですか？

もしかしたら見た目と違って
本当は優しい人なの？



あの…
私はどうすれば？

株って四六時中に
数字ばかり見てるだろ
ストレスが溜まって
しょうがないんだ

はあ…

少しは発散しないと
判断力が落ちちゃうんだよ



胸…
見せてくれないかな？

一回一万でどうだ？



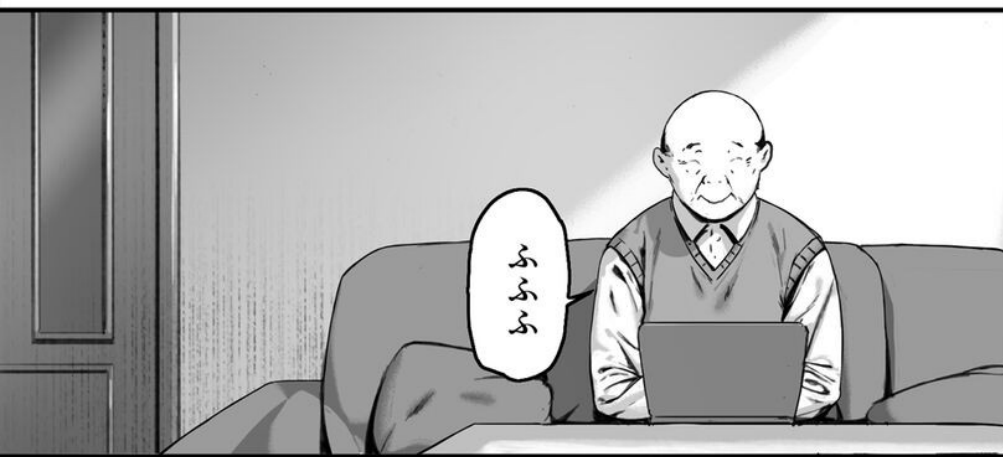
アッ



結局ただの
クソオヤジか



冗談はやめてください！



ふふふ



ごめんなさい
ちよっと休みたいから
後片付けはお願い

わかった
任せて



祐樹、綾美さんはこんなに
いいお嫁さんなんだから
大事にするんだぞ

は…



綾美…もしかして
体調悪い？

ううん…ちよっと
疲れてるだけ



このままだと
来月は…

やっぱり何かアルバイト
しないとダメかな

ダメだ…
赤字が増えてる…
利息だけでも大変だ…



121040円…

75025円減ったから…



一回一万で
どうだ？



ドクン

ドクン



私ったら…
そんなこと絶対ダメよ

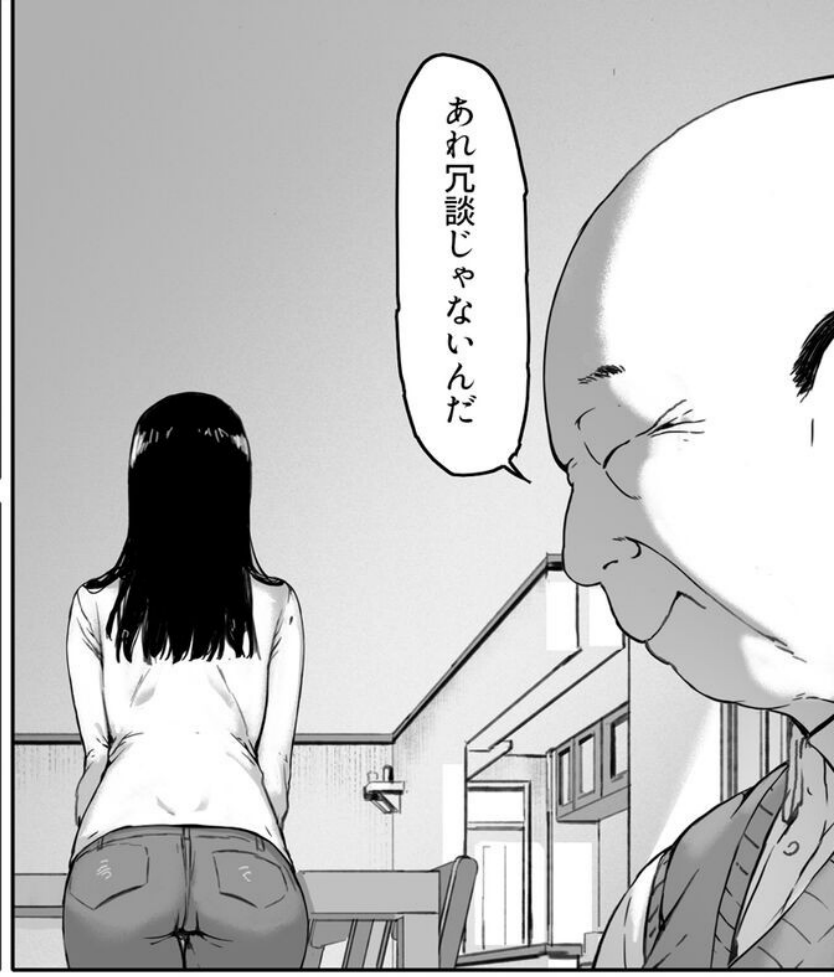


一回一万…



あれって？

危ない危ない…
考えが読まれてるみたい



あれ冗談じゃないんだ



分かってるぞ

お金に困って
いるんだろう？
顔を見れば分かるさ



やめてください

いくらなんでも…
家族なんですから…

本気だよ

ストレスを発散しないと
投資にも失敗しちゃうし

そうだったらこの家に
お金を入れることもできなく
なっちゃうよ

裕樹も大変になるだろう？
これも家のためなんだよ

そんなこと言っても…
できません



じゃあ…
一回二万でどうかな？

ちょっとでいいんだ
バイトより楽だよ

確かに…バイトしても
…全然足りないし…



これでもダメなら…
もう二度と言わないから



でも…

でも…おかしなことは
絶対にしないでくださいよ…

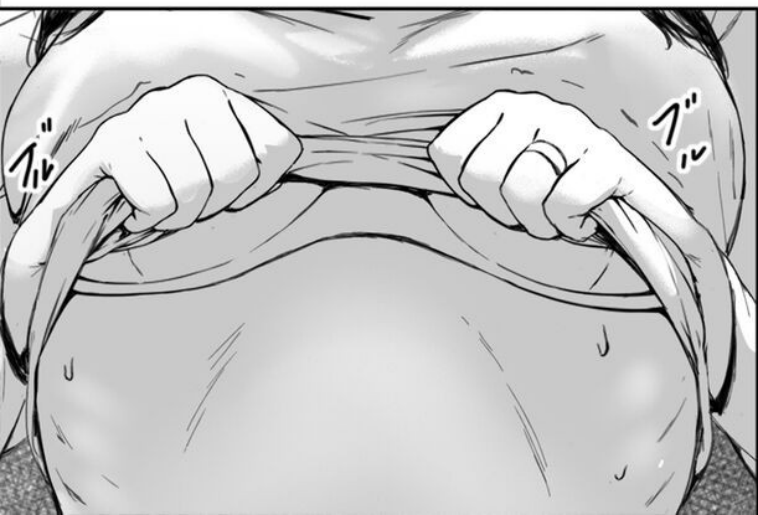
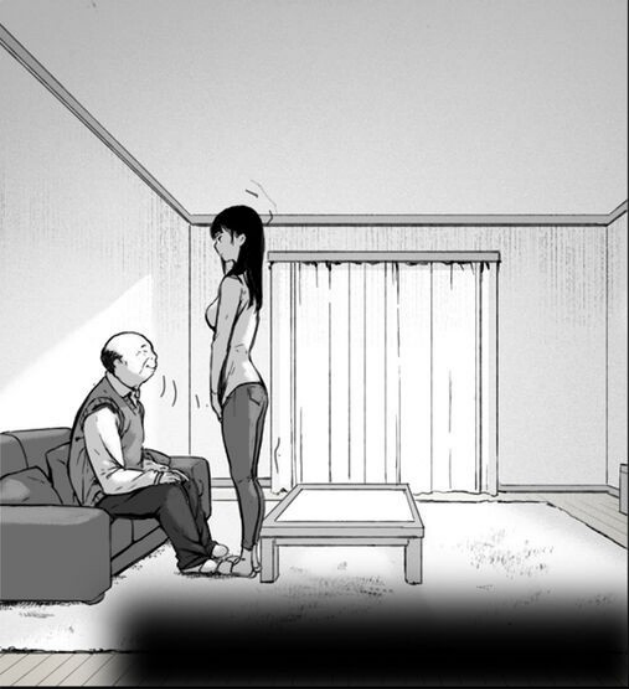


これは今の静かな
生活を維持するため…仕方がない



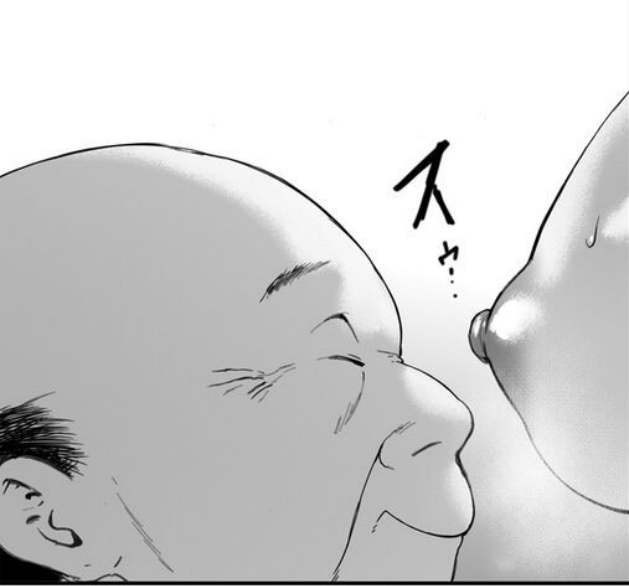
裕樹くん…ごめん…

ちょっとだけなら…うん



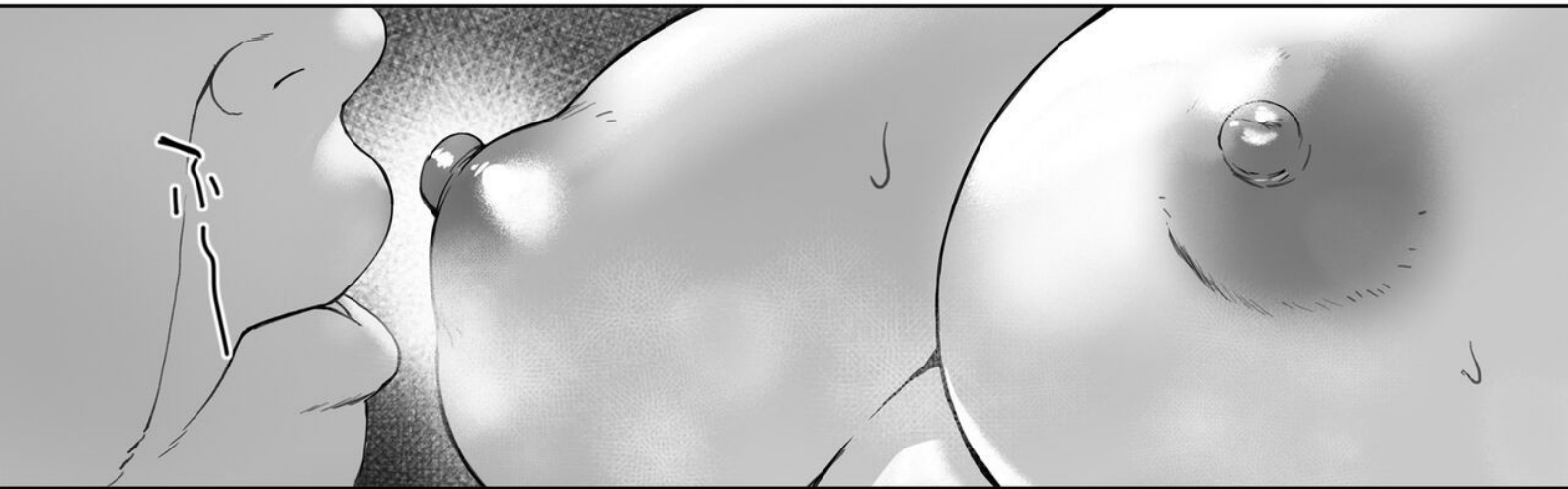






なにがちよっとだよ！
早く終わせろよ！

息が…感じる



しまった！目が合った…

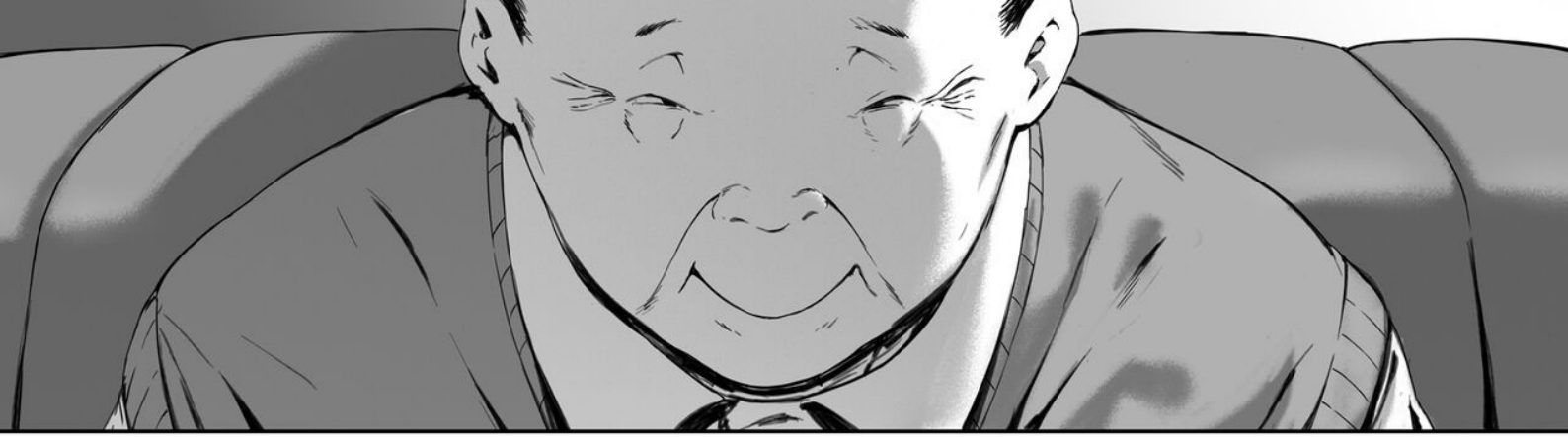
ヤバイ…
緊張する…乳首が…



こんなの！
反則！？



どうしたんだ？
まだどこにも触ってないぞ？

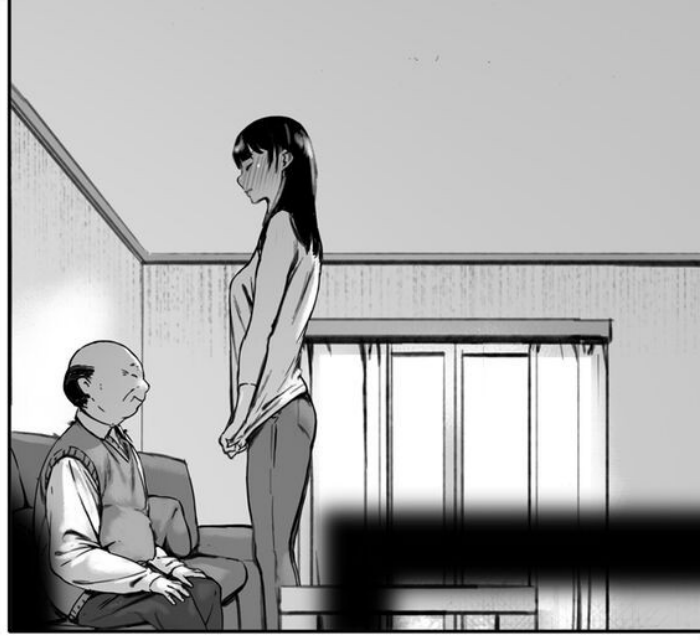


ありがとう

良かったよ



フフフ…
いいものを見せてもらったよ
裕樹が羨ましいな



早くこの場を
離れなきゃ！



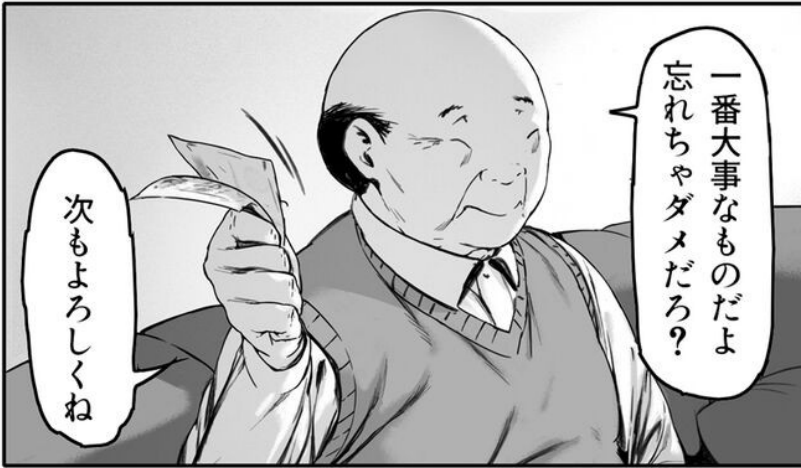
これつきり
ちゃんとバイトで何とかするから



ちょっと血迷っただけよ…



まだ何か!?



次もよろしくね

一番大事なものだよ
忘れちゃダメだろ?





ふふふ、
今日の綾美さんは
すごかったぞ

少し株のやり方を
教えただけなのに
すぐ儲けていたよ



綾美、どうした？
体調悪いんなら休んだら？

ううん…大丈夫…



いえ…
お義父さんのおかげで
たまたまよ

それにまだまだ
取り返さなきゃ…



へえ、凄いやないか
じゃあどうしてそんな
暗い顔してるんだ？



はい…

これは…もう逃げられない…



ダメな株を売るのは初めの一歩だ
すぐに稼げるようになるぞ

うん…
これなら利息はなんとかかなるかな



ふう…

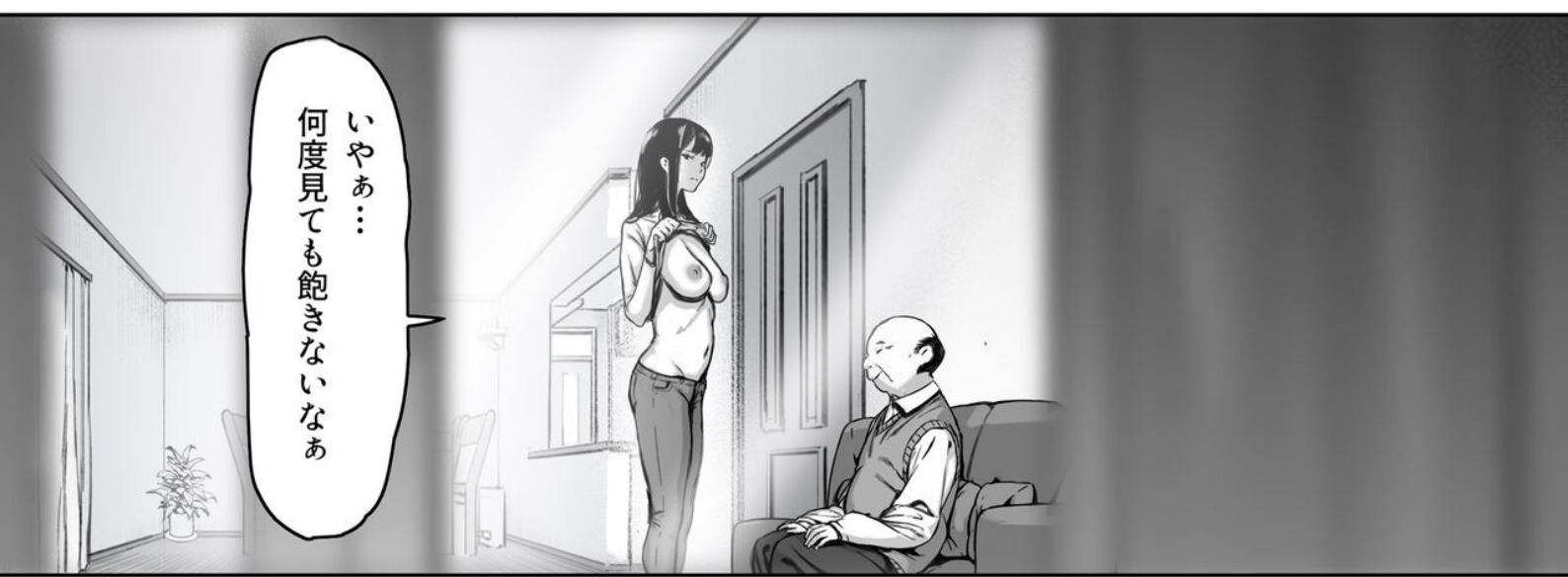


まあ…あつという間に終わるから
我慢我慢…



綾美さん
ちようど呼ぼうと思ってたんだ
今日もよろしく

もう当たり前みたいになってる





こんなに楽にお金を稼げるのは俺がここにいる間だけなんだぞ

でもさ
利息分にしかならないだろ？



あんまり調子に乗らないでよ
これで精いっぱいなんだから



さあ早くしてください

なんでもお見通しなんだな



ふふふ〜じゃあ遠慮なく



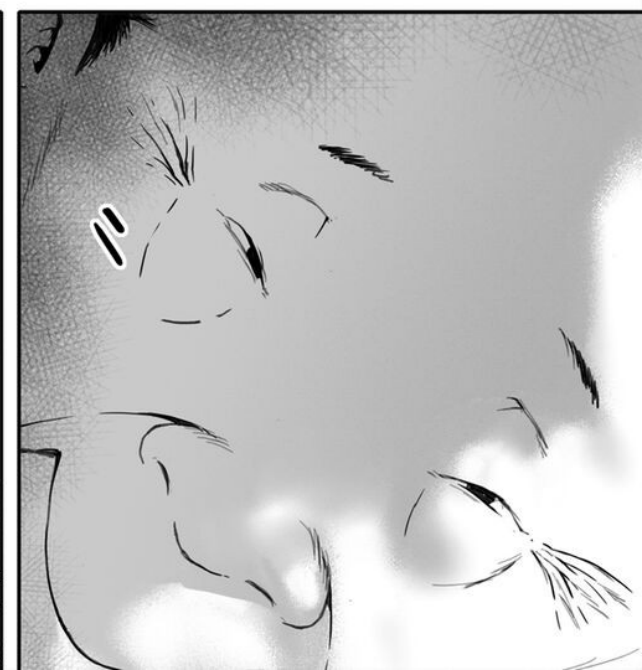
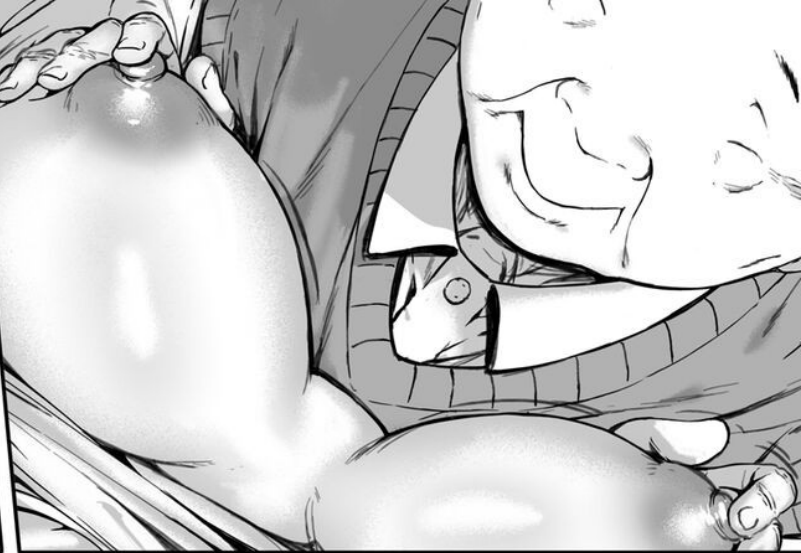
いやあ〜ぶにぶにだあ
吸い込まれちゃいそうだ

触らせてるんだから
何にも言わないで



すまんすまん〜
あんまり手触りがいいもんだから







あッ!!

手だけとは言っていないぞ



え!?
触るだけって...



はッ

こんなこと...やめ...

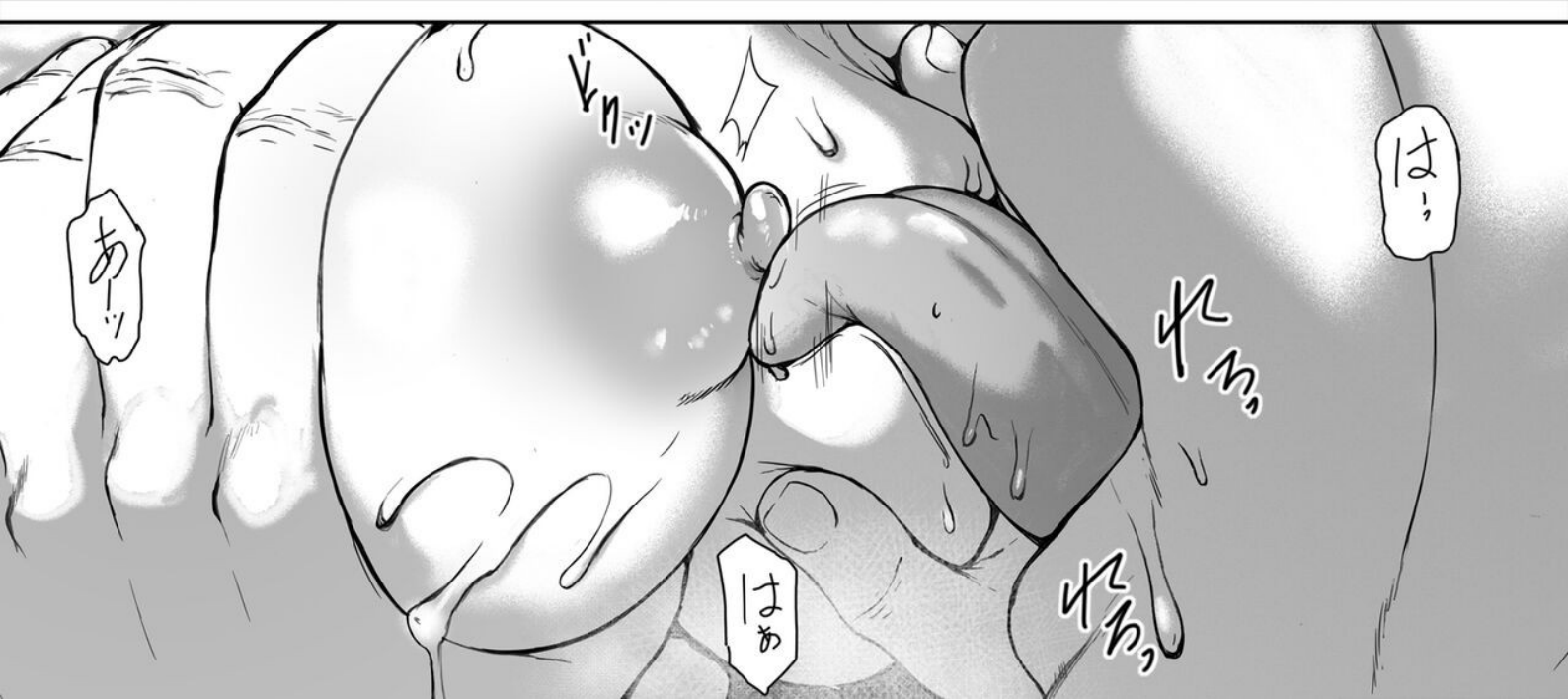
はッ

あッ!!

あッ!!

あッ!!

はッ



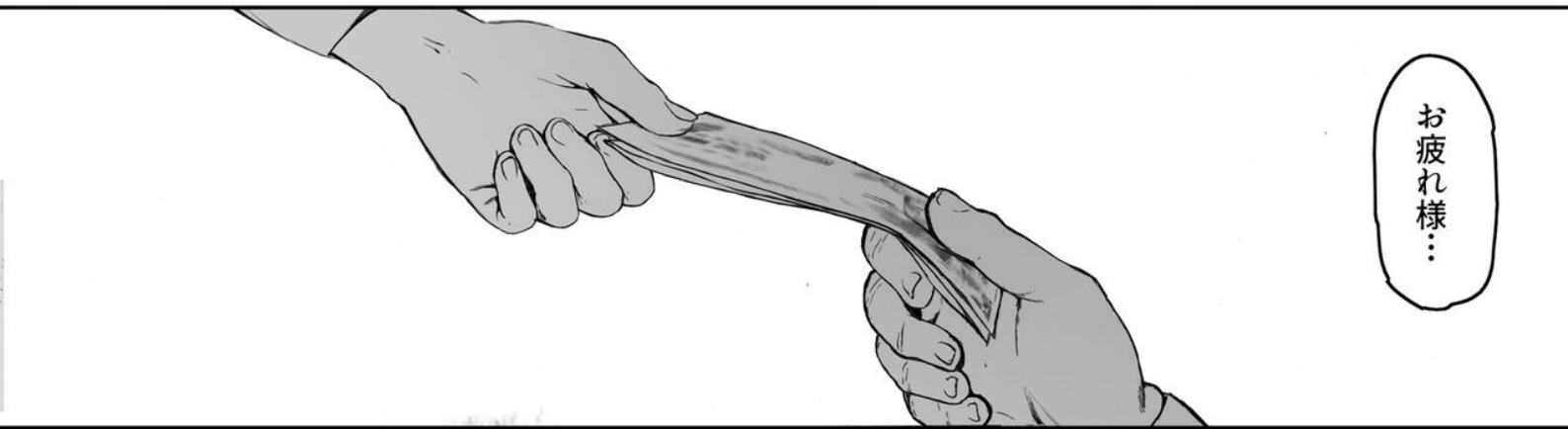
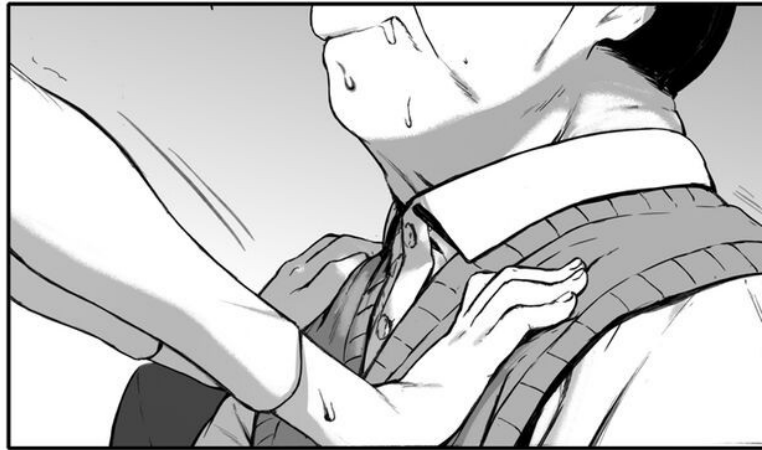
あッ!!

はッ

はッ

あッ!!

あッ!!





6万：12万：
2万2640：



もっと稼ぎたくないか？



気色悪いけど

赤字は何かかかったわ
もしかしたら…もっと…

なんて奴だ…

何言ってるのよ
家事があるから早くして

私はあなたの
息子の嫁なのよ！
もうこれ以上のことは…

大丈夫だよ
おれはしっかり
してるから

祐樹を心配させ
たくないんだろ？

で、何がしたいの？

うん
借金も早く終わらせ
られたらもったいいん
じゃないか？

ここまで見せたら裸同然じゃないか

できれば
俺の趣味なんだ
服を脱ぐとこ見てみたいな

ああもう…
調子に乗りやがって…



こうでもしないと
うるさいんだもん



でも…
もっとお金が貰えたら
借金も解決できる…

わかりました

ほほう
思い切りがいいな



ふふふ…

綾美は俺のことよく
わかってるな



なんだか…一枚脱ぐたびに…
大切なものを失っていくみたい

これもおやじの計算のうちか…
でもこんなこと続けてたら…



今までもっとすごいことしてたのに
なんで服脱ぐだけで…
こんなに恥ずかしいんだろ



何がどうあっても
俺は祐樹のおやじだよ

安心して…



ふん！
よく言うよ！



さすがにいい体してるな

アハハ

アハ

アハ

今まで見られなかったなんて

気持ち悪くて吐いちゃいそう…
でも…
なんで私断らなかったんだろ



もう…恥ずかしくってるのを
見られるほうが嫌だわ

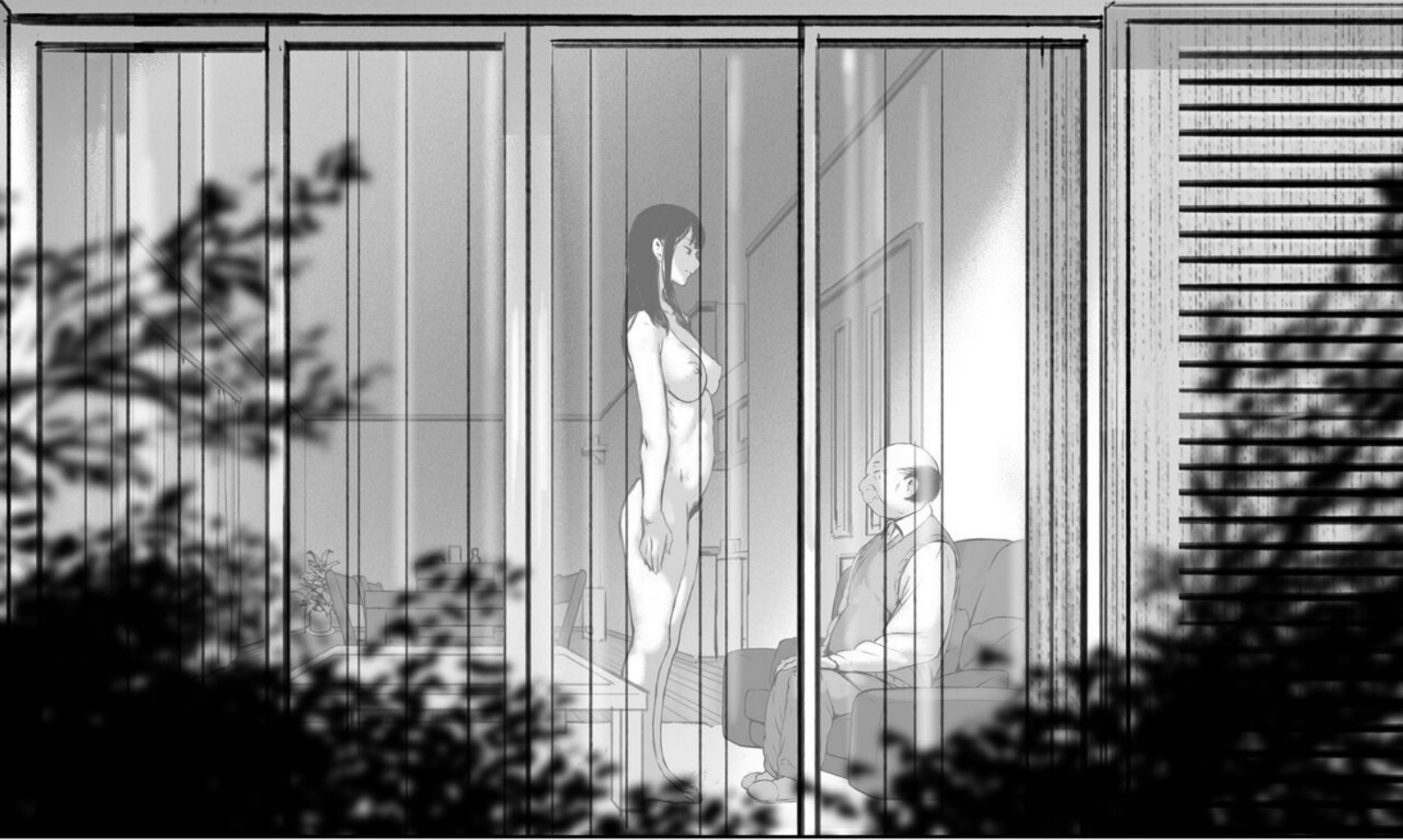
アハハ



見られるのは嫌だけど

もうなるようになれたわ!

バサ





あはら...

見られてると
濡れてきちゃう

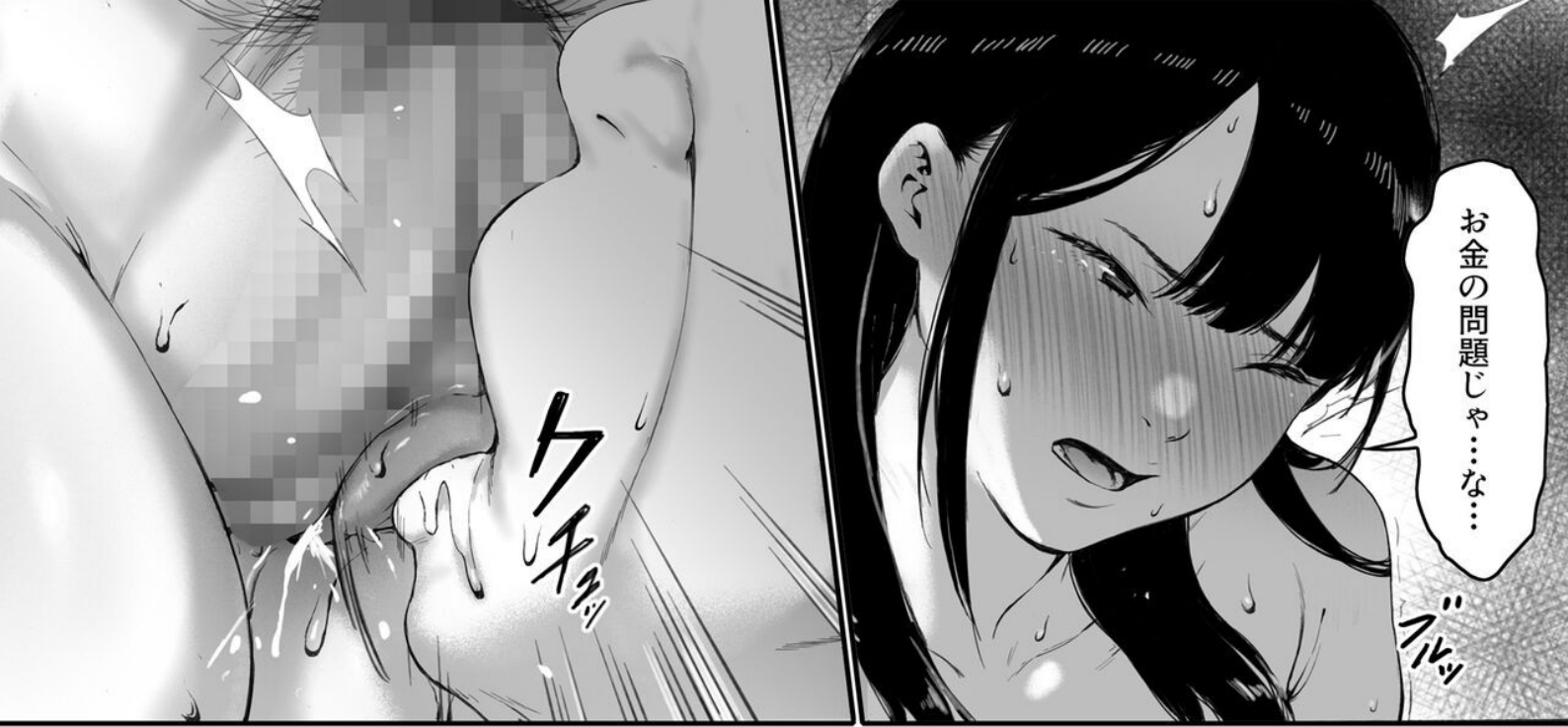
緊張しすぎよ！
抑えて抑えて！

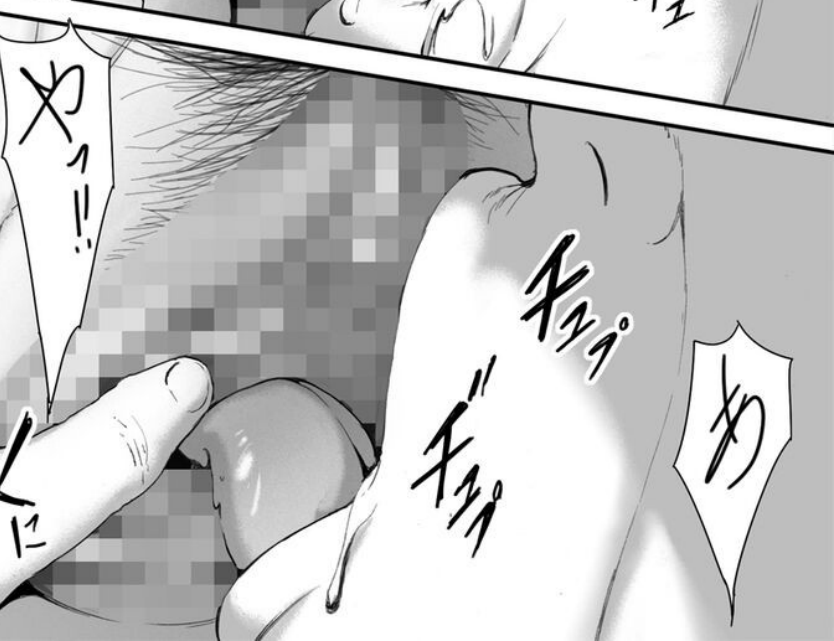


あと一万出すよ

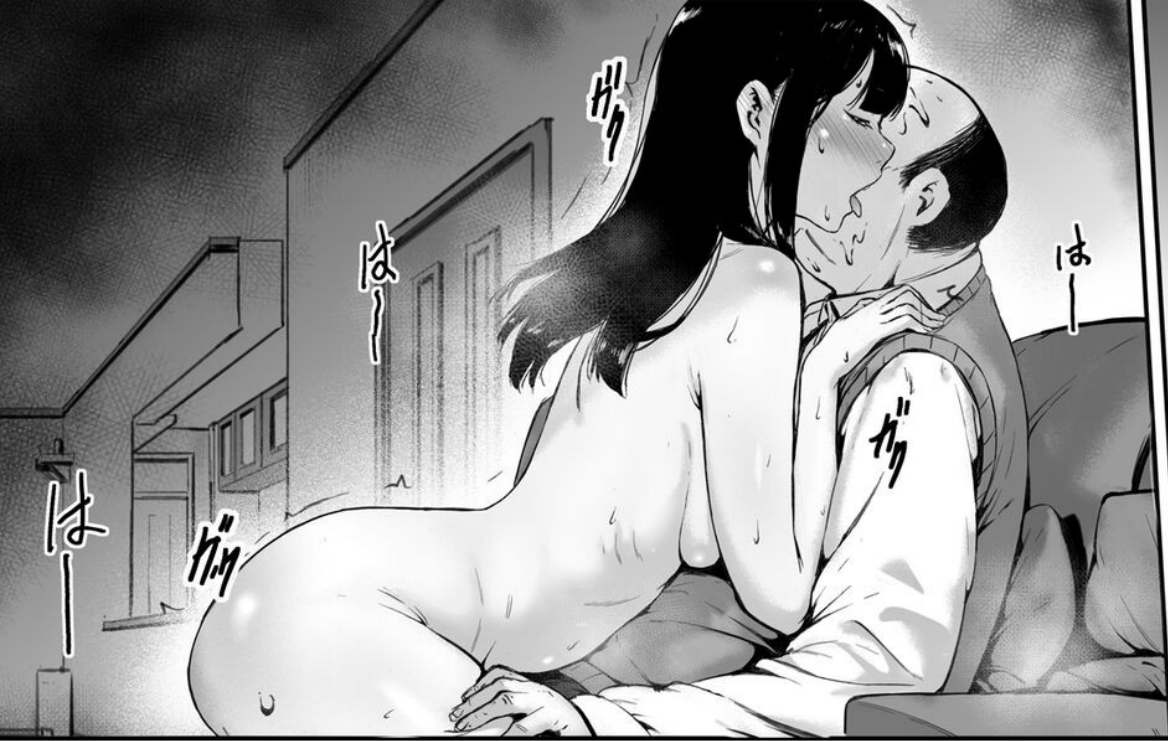


おい...！
そんなこと！









でも…
祐樹君くんとの時より…



私ったら…
いっちゃうなんて…



こんな…もしこいつが…
このまま私を…





やっぱり…
このまま…

おやおや…綾美さんが
セクシーすぎるもんだから
ムスコが反応しちゃったよ



ぞく、

お口で…か…
でも

このままじゃあ俺も辛いから…
あと二万でどう？頼むよう



大丈夫？
俺はそんなつもりはないよ
でもお口で処理してくれたら…



それだけ…ならば…
うん…

なんで…
断らないんだろう…私…

ゴク…

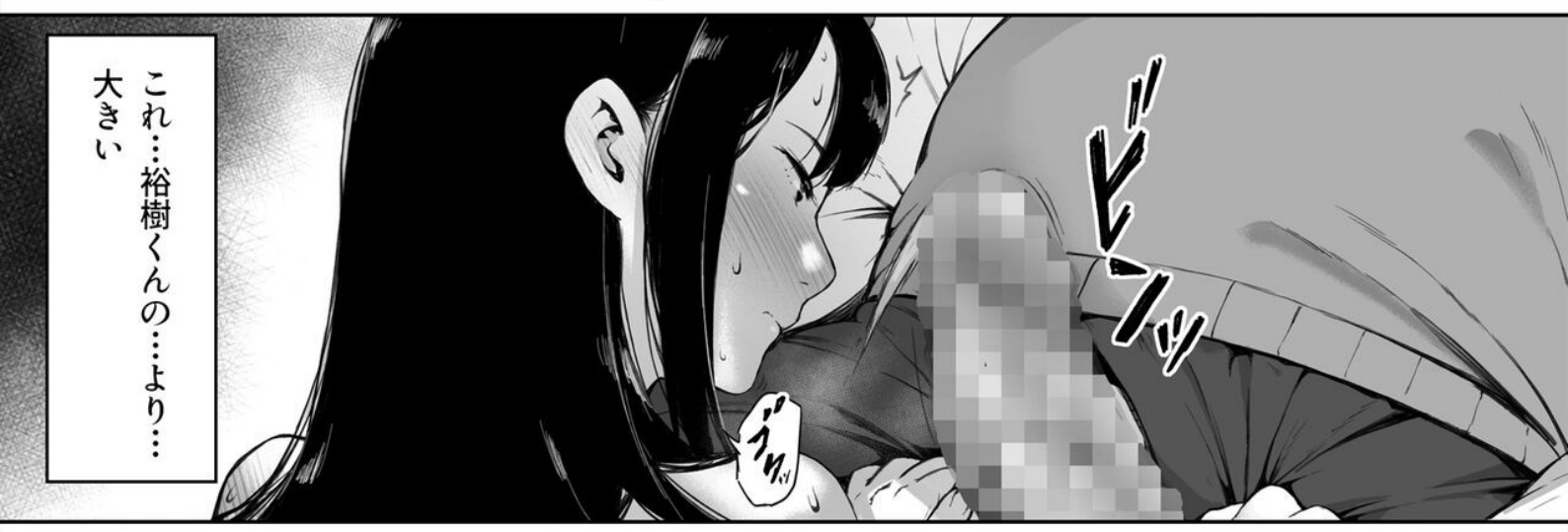


完全に流されてる...



よかったじゃ
ズボン脱ぐからお願いね

はい...



これ...裕樹くんの...より...
大きい



まずは歯に当たらないよう
ゆっくりと口に含んで



祐樹くんが...
汚いからって...
私に...

そうか...
じゃあ練習しよう

どうした? ひよっとして
まさかフェラしたことないのか?

そうそう…
そのまま全部を

大きい…
こんなに入らない…

涎でぬらして
舌で

これは…裕樹はもったいない
ことしてるなあ

…言い返せない

よしよし
上手いぞ

おや、俺が何も言っていないのに
スピードを上げるなんて
物覚えが早いな

だれがこんなもん…こんな…
大きくて…臭いの…



早く終わらせたいだけ…



なんで…
まだなの？…

おお、これはいい
綾美才能あるなあ



でないと…
私…



もう…早くしてよ！





来る！



なんて量なの…





じゃあお口できれいに
お掃除してくれ
それでおしまいだ

グク...

グク



グク

グク

グク

グク



まあ全部飲んでくれたら
最高なんだが...最初だしな

ビク

ビク

ビク

ビク



はー

はー

さあ
頑張ったから
ボーナスだ



こんなこと褒められても
嬉しくなんかないよ...

ああ...すっきりしたよ

クス

クス

クス

クス

これでまた仕事の
やる気満々だよ

はー
か

家事の邪魔しちゃったな
でも祐樹が戻る前に
済んでよかったよ

おっ

裕樹くん…あたし…

ブル

ブル

ブル

ドロ

ブル



ただいま

綾美
どうした？

すみません
夕飯ちよっと遅くなっちゃうかも…

んん？



いいお嫁さんだな
浮気なんかしたら
この俺が許さんぞ

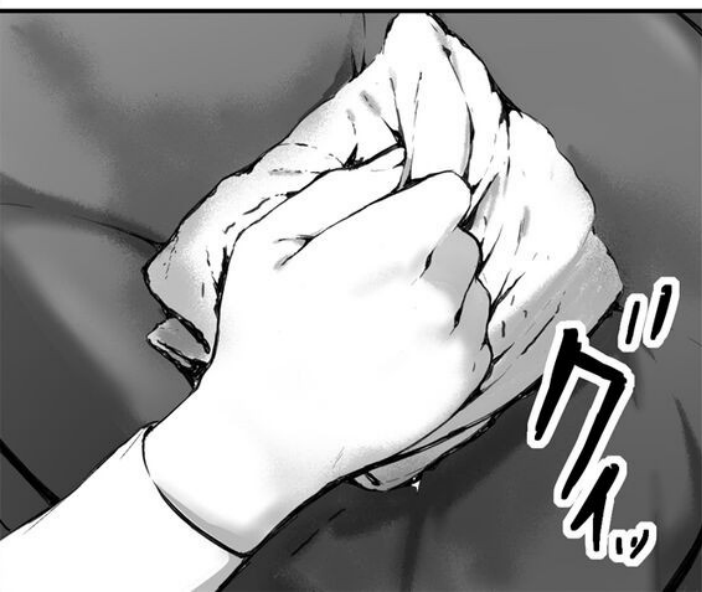
そんなことする
わけないだろ



いやあ…俺が悪いんだ
綾美さんは株の才能があるな

綾美さんが凄い
取引してるのを
見て

ついコーヒーを
こぼしてしまっとな



おお！凄い
僕が手伝うよ

教えてもらった通りに
やってみただけなのよ

祐樹くんこそ疲れてる
でしょ休んでて



こうでもしないと...
お昼の記憶を上書きできない...



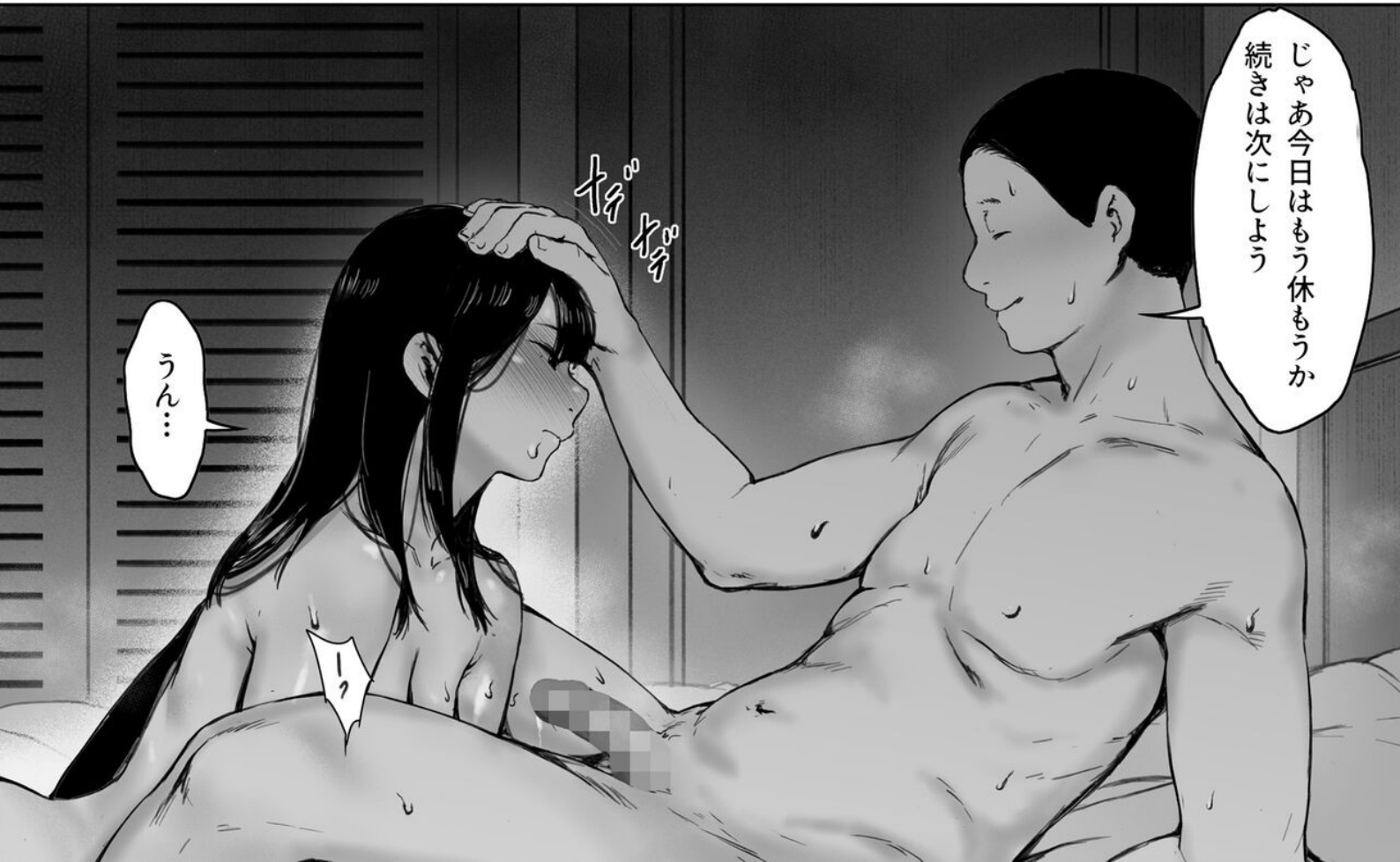
良かったよ
いつもと違うんで
びっくりしただけさ

株ってずーっと
数字見てるでしょ
ストレスが溜まってるのよ…



やっぱり…
疲れてるね…

どうした？



じゃあ今日はもう休もうか
続きは次にしよう

うん…

！？

チグチグ



あのさ…綾美



うん…何でもない…
お疲れ様



何？

その…
もしかしたら…

お休み

うん…
頑張ろうね

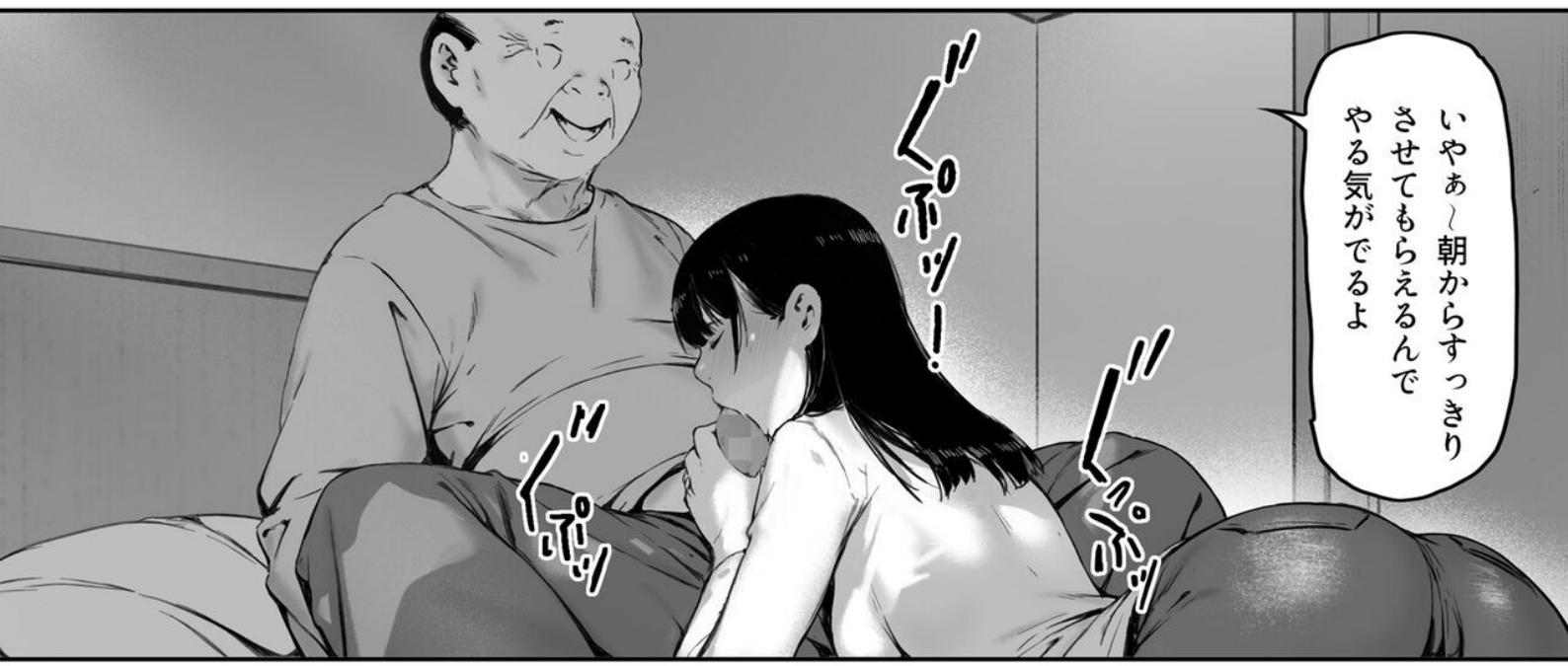


ガチャ...

ムスコを大人しくしてくれたり起きるよ

おはようございます

あの日から「お手伝い」が一番大事な仕事になっていた



ぐっしょり!

ぐっしょり

ぐっしょり

いやあ朝からすっきりさせてもらえるんですよ



「お手伝い」の中身も
どんどんエスカレートしていった



四六時中お義父さんにもてあそばれる様になっていた



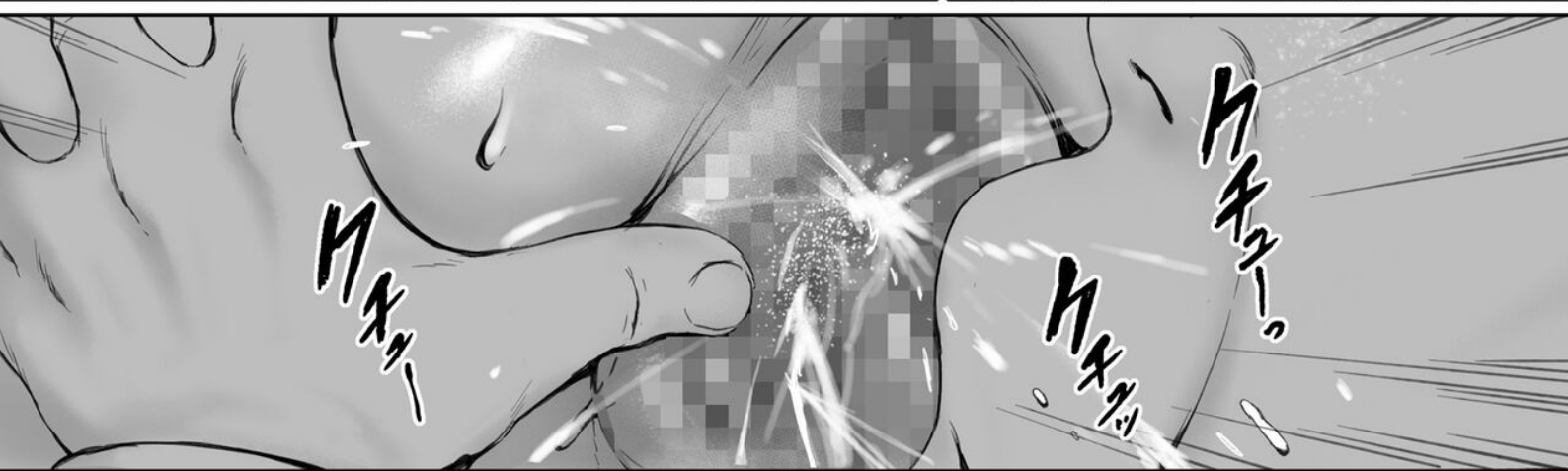
まあ
綾美に苦勞かけるね

しょうがないわよ
もう若くはないんだから



いつでも…
どこでも…

そう言えば
オヤジ最近起きるの
遅くなったな



…ちよつと…寝不足なだけよ
それより
もう行かないと遅刻しちゃうわよ



綾美…?
大丈夫か?



え！？…もうこんな時間だ
急がないと…
綾美あんまり無理するなよ



ズル

では胸で頼むよ



あゝ危ない危ない
あんなところ見られたら大変だ



以前は知らなかったオトコの
喜ばせ方もたくさん教えられた

その代わり
貰えるお金もどんどん
増えているけど

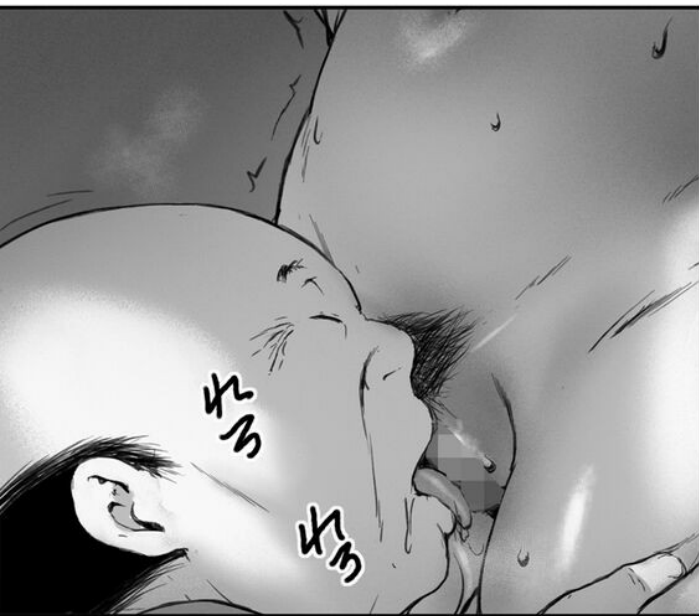
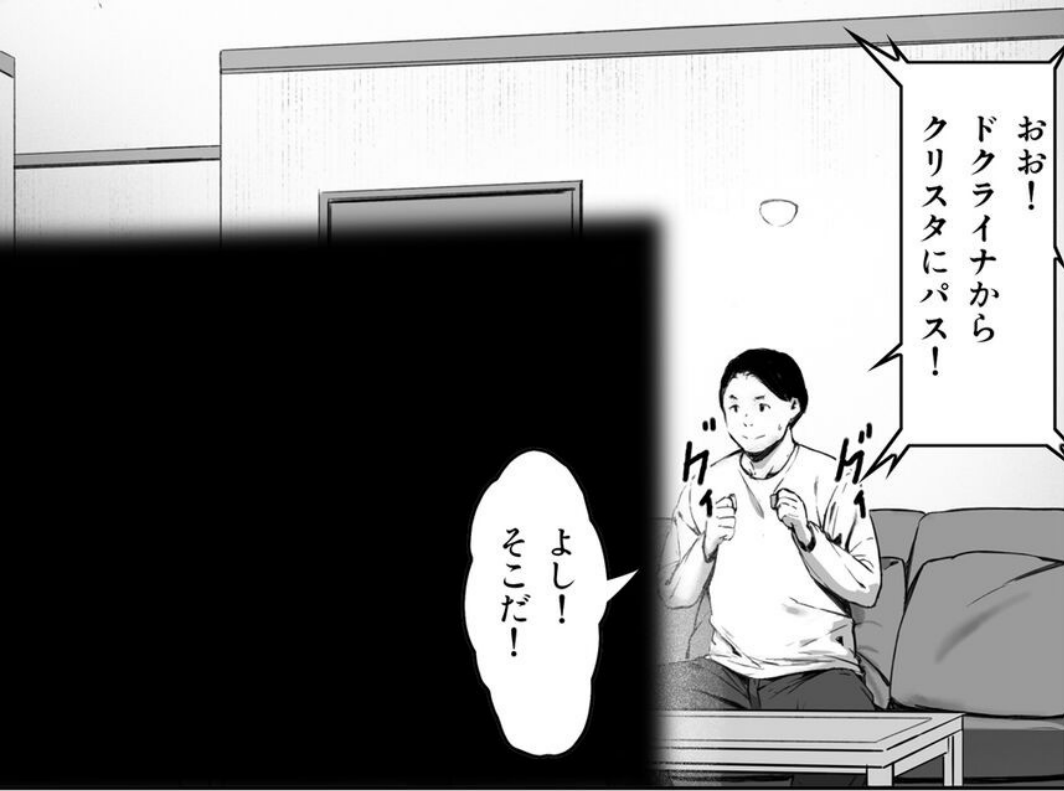


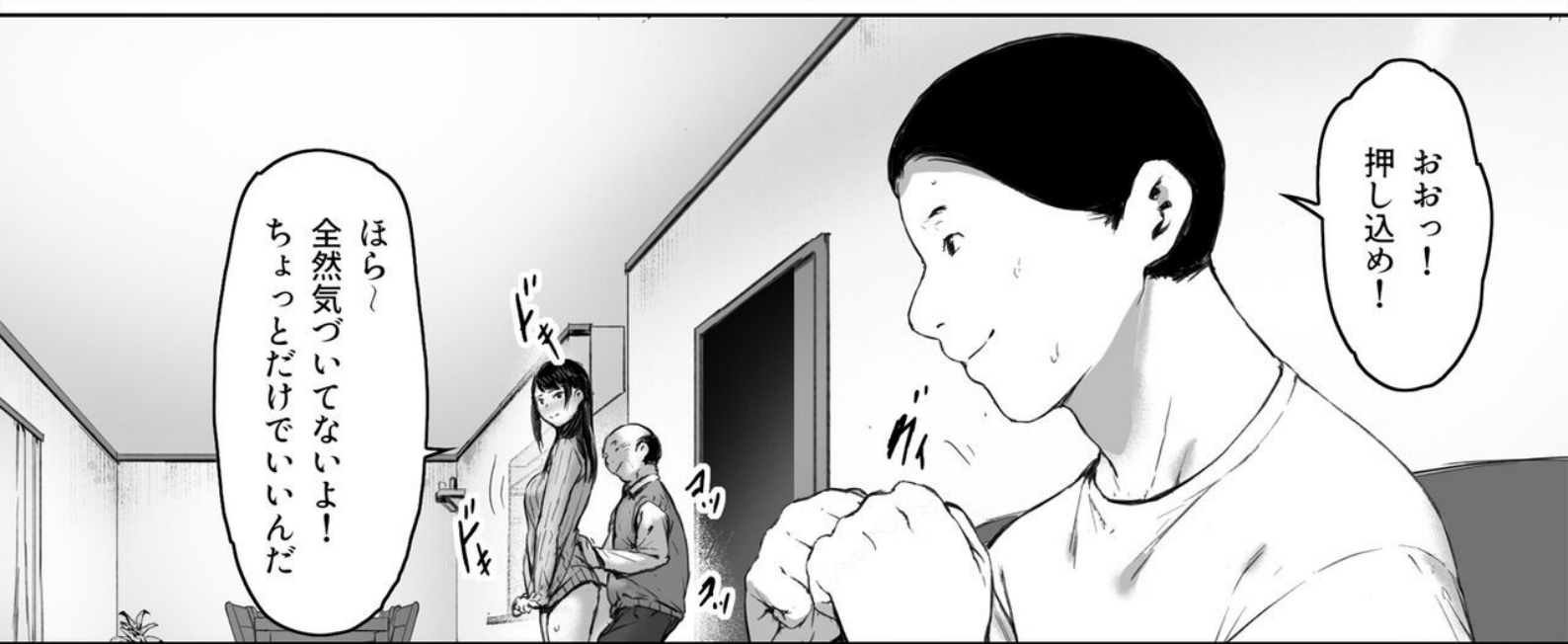
ド

二人つきりになれたことだし
さっきの続きを…

ケチ
ケチ







両チーム、円陣を組んで監督が選手に指示を与えています
後半もあと残すところ3分です

選手たちがフィールドに戻って

もうやりすぎなんだけど...

でも最後だし...

さあ、ゲーム再開です！

許して...裕樹くん



聞こえちやう!

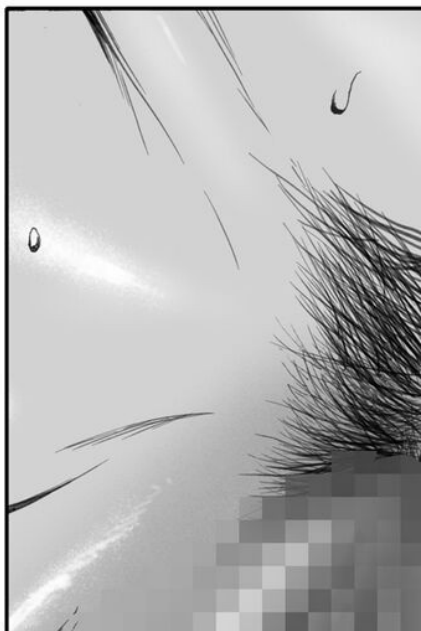


おやおや〜
もう濡れてるな



アル選手巧みな
ドリブルで切り込んでいくう!

おお!!
いけえ!



さすが!
ボールさばきが凄いな



だれもアル選手を止められない!

そこだあ!
ディフェンスをぶちぬけえ!

ブル

ブル
ブル

アルさらに切り込んでいくう!
もう手が付けられません!

おお!来た来たあ!!

右だ!

ブル
ブル

そこだあ!

よし!
ディフェンスラインを突破した!

どんどん攻め込めえ!!

ゴールはもう目の前だあ

ブル
ブル

ブル
ブル



ディフェンスもよく耐えてるなあ



ようし！
行けるぞお！



守り切れない！
いまだ！

そ!!



もうだめだあ！



そこだあ！！
押し込めえ！

シュート!!

行け
行けーッ!!

ボールはゴールを
超えていきましたあ

ああ!...
わずかに高過ぎたあ...

さあ決着はロスタイムに
持ち込まれます...

ハッ...

まあ…こんなにもいい試合なら
最後まで見たいよなあ

カ
カ
カ

すまんね
ちよっと待っていてね

カ
カ

カ
カ

うん？綾美？
…あつ…オヤジ

綾美さんはもう寝たみたいだよ
お前中継にのめり込んでたなあ

まあね
あれ…どうしてそんなに
汗かいてるの？

いやあ…ちよっと
筋トレしてたんだ…

お前こそ

サッカー見てるだけで
すごい汗かいてるぞ？

しかしアリノス押し込まれます

反撃なんて無理だろう

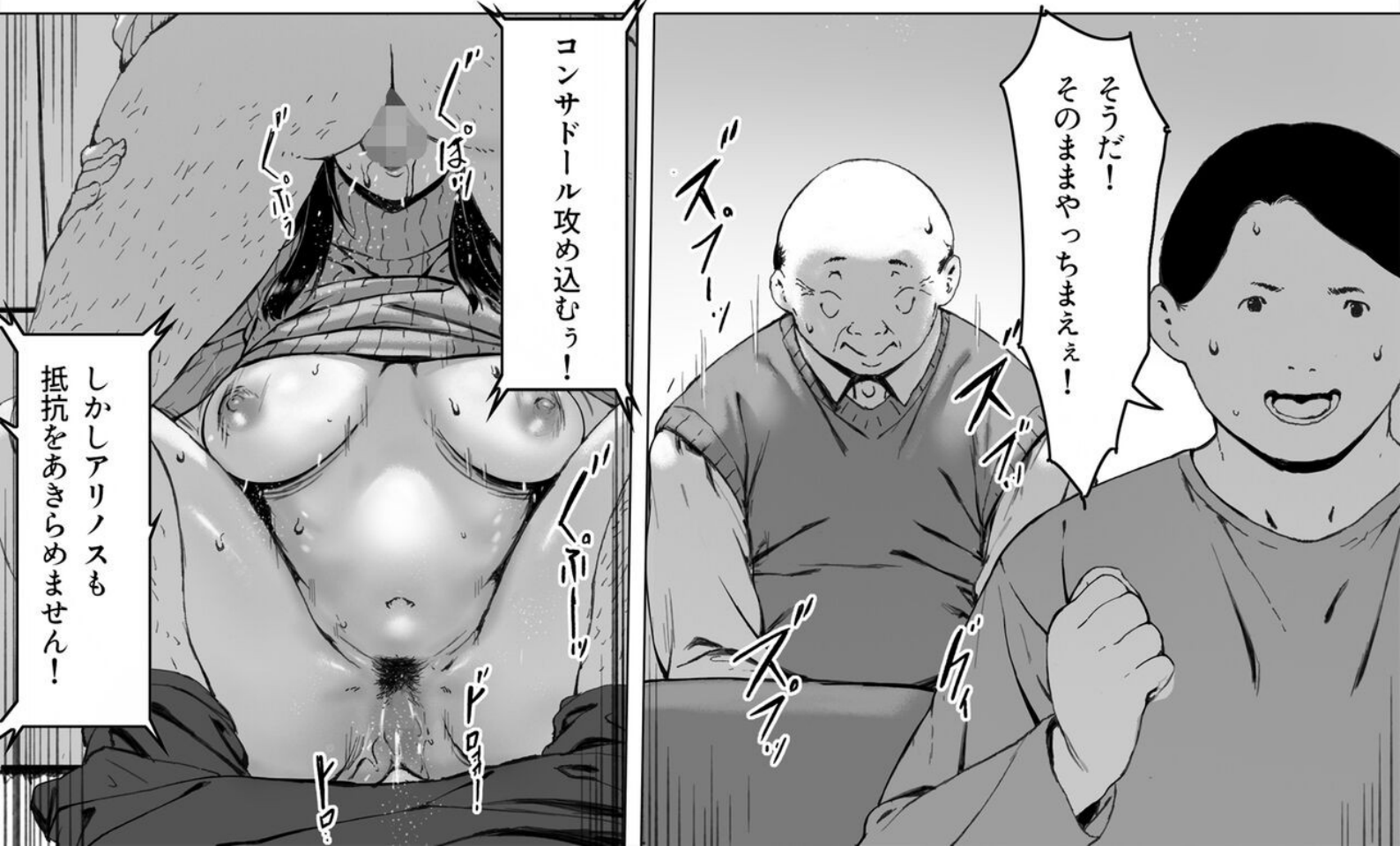
アリノス必死の抵抗を試みます！



そうだ！
そのままやっちゃまええ！

コンサドール攻め込むう！

しかしアリノスも
抵抗をあきらめません！



おう！コンサドールの攻撃を
押しとどめたあ！

あぁっ！
止められた！

アリノスはこのまま
コンサドールに
攻め込むつもりです！

アリノスに戸惑いが
見られます！

またコンサドールが
試合の主導権を握ったあ

ほ～
奪い返したぞ

うん～
このまま行けるかな

しかしシュートが
決まるまではわかりません！

すごい刺激だわ

まだまだゲームは
終わりません！

コンサドールが
攻め込みます！

コンサドールの攻勢に対して
アリノスは全力で
防ぼうとしています

しかしコンサドールは
攻撃の手をゆるめません
アリノス押されています！

さあディフェンスライン
突破だあ！

そうだー！！

そーッ！
もっと奥まで突っ込めええ！

ゴールネットを揺らすことが
できるかあ！？

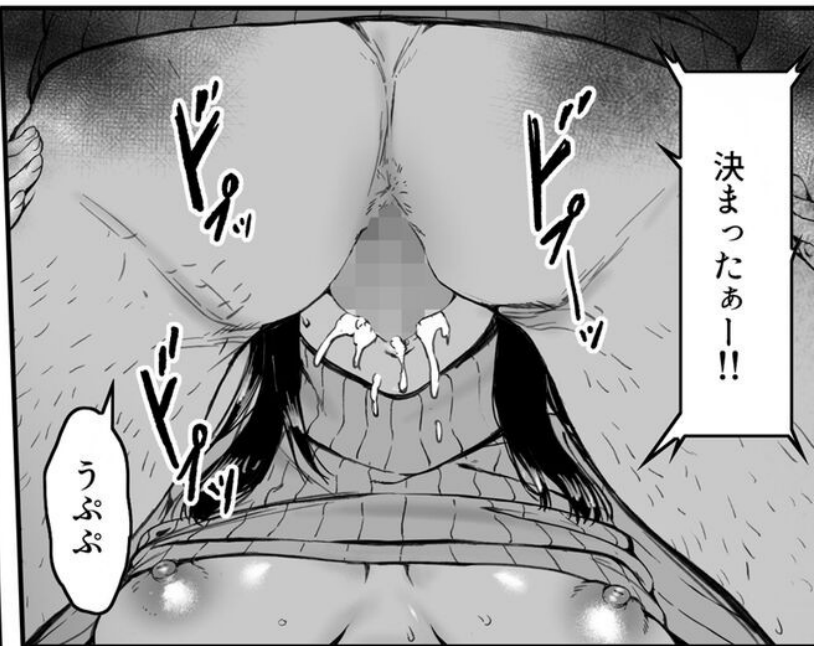


シュートオオオオツ!!



うん…息つく間もないって
こういうこと言うんだろうね…

凄い攻防だったなあ…
興奮しちゃったよ



決まったあー!!

うぷぷ



ふう…

うぷぷ



もういいよ
十分キレイだ



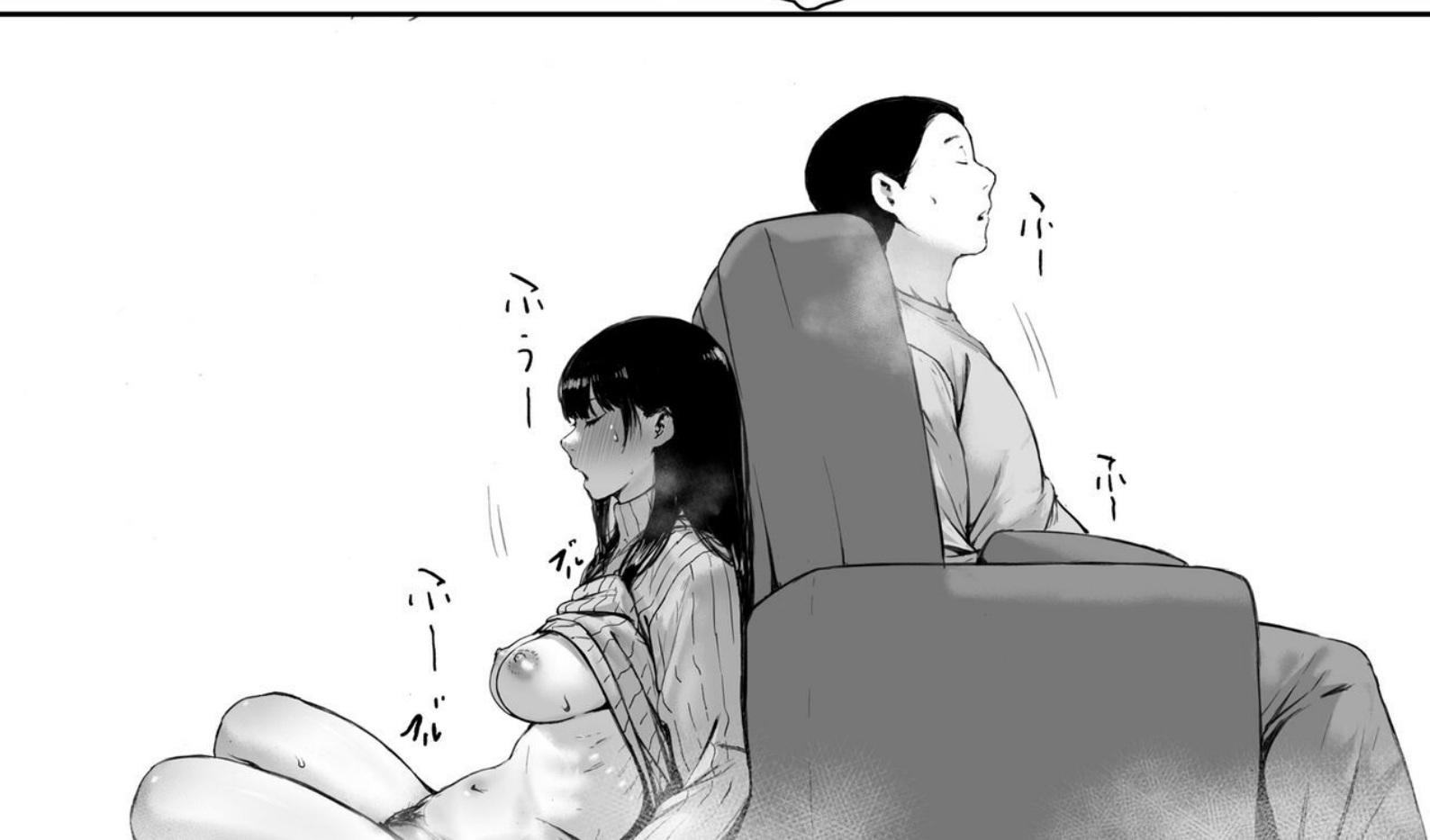
アリノスもあきらめず必死の
抵抗を見せましたが
最後は防ぎきれませんでした…

…いやあ、それにしても
コンサドールの攻撃は
すごかったですねえ…



うん…
一息ついたらすぐ寝るよ…

そろそろ寝ようか
綾美さんが待ってるぞ





あ…!ごめん…
つい寝込んだじゃった…
待たせたね

ううん…大丈夫
すごい攻防戦
だったんでしょ?



裕樹くん?



ねえ…
もう寝ようよ?

うん

もうこれで…
終わりにできるかな

今日は来なかった…

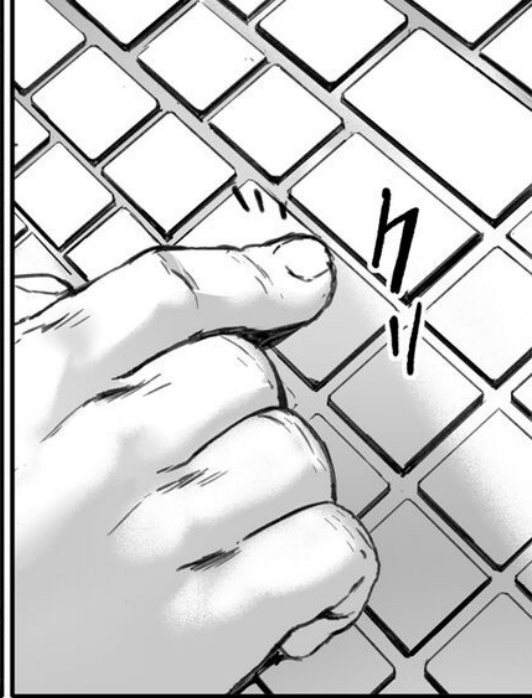
カチカチ

カチカチ

うん…ちょっと確かめたかった
だけなんだ

へえ…ちゃんと仕事することもあるんだ

お義父さんのこんな姿…
珍しい…



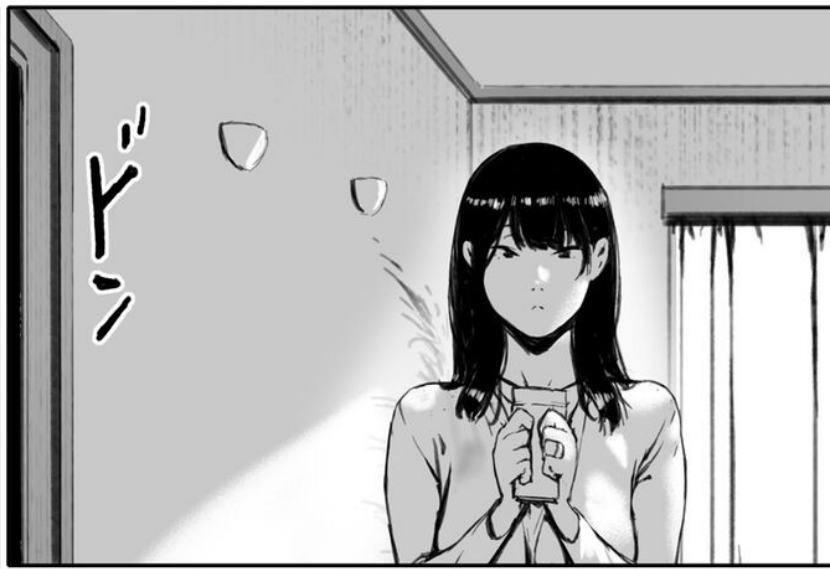


今日は夕飯は外にするよ
久しぶりに二人で楽しめよ



やったあー！
最近裕樹くんも忙しそうだし

おいしい物食べさせて
元気出してもらわなくっちゃ！



ドゥン



本当に…終わったんだ

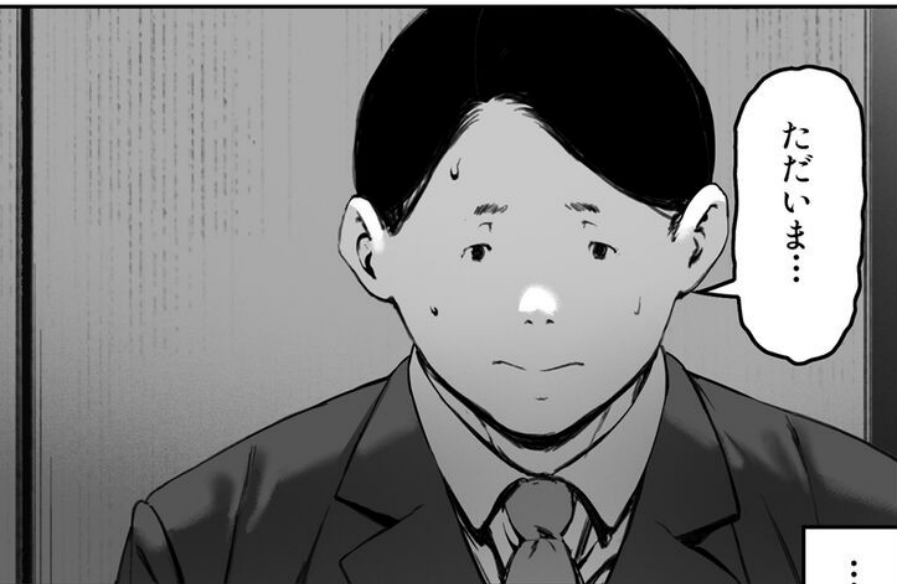


まあ、
お義父さんもいないことだし、
後は裕樹くんを待つだけね

派手すぎ…
でもないか…



うん…



ただいま…



…? なにかあったの!?

ねえ、とりあえず…
夕飯食べよう!
今日はお義父さん
外で食べるって
裕樹くんのために
腕を振るったのよ!

うん…

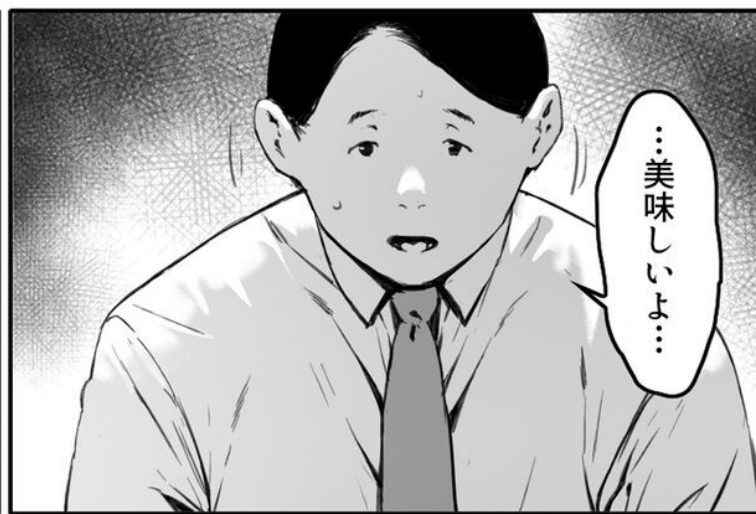


お帰り〜裕樹くん〜



お祝いでもしようかなって

もう株の損は
取り返したから…



…美味しいよ…



今日突然言われたんだ…その…
給料が払えないって…

あの…どうしたの？

実は…
会社が大変なんだ…

うちは子会社だろ…
最近親会社の株が
凄く下がっていて

この先どうなるかわからないって…
だから…家計を…綾美に…
手伝ってもらわないといけなくなる
…かも…



そうか…株…



毎朝のあれ…

いえ…さすがにこれは…
普通のおっさんよ…



そんな…

それに…
なんてタイミングなの



でも…こうなったら
「お手伝い」を…
続けるしかないか…

こうでもしないと…
祐樹くんに嘘がばれちゃう…

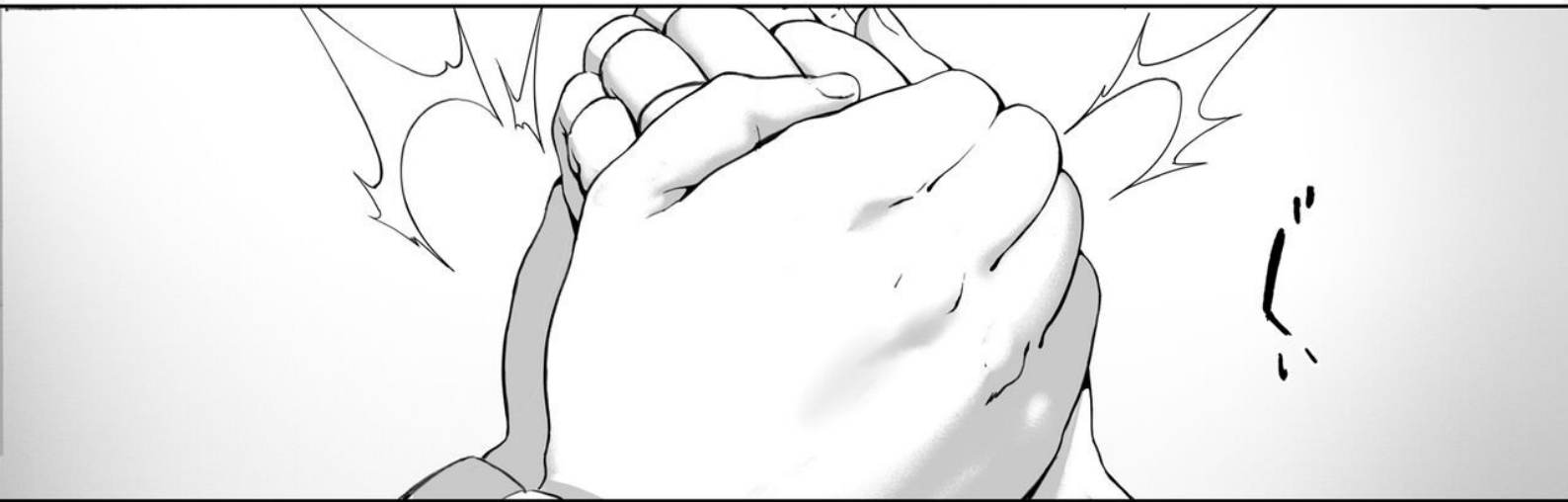


うん…ごめん…

やっぱり綾美には荷が
重すぎだ…
俺がなんとするよ…

大丈夫…







乾杯？

今回もうまくいったな



ああ…それにしても
すべてが計画通りにいくとはな

ちよつとアンタの行動を
ちらつかせたら
まんまとひっかけりやがった
あんな大会社が潰れるなんて

もともと潰れる運命だったんだよ
俺はそのきっかけをくれて
やっただけさ

まあ
お陰でまたぼろ儲けできたがな



それにしても…あのカモ
あんな株全部買い取るとはな



例の件のお返しをしただけさ

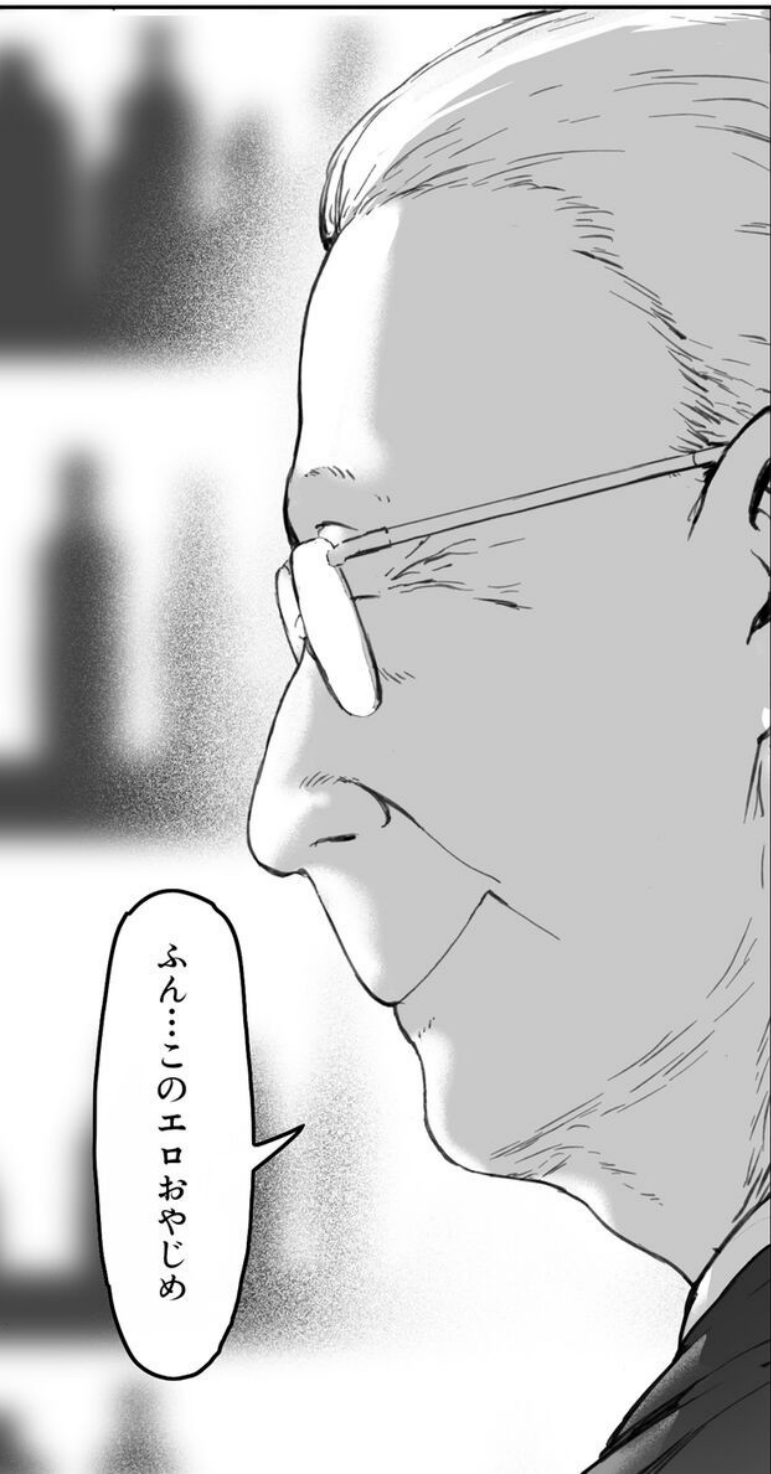


おいおい
あんなに儲けたのに
一次会で終わりか？

本当のお祝いは
これはからだぞお



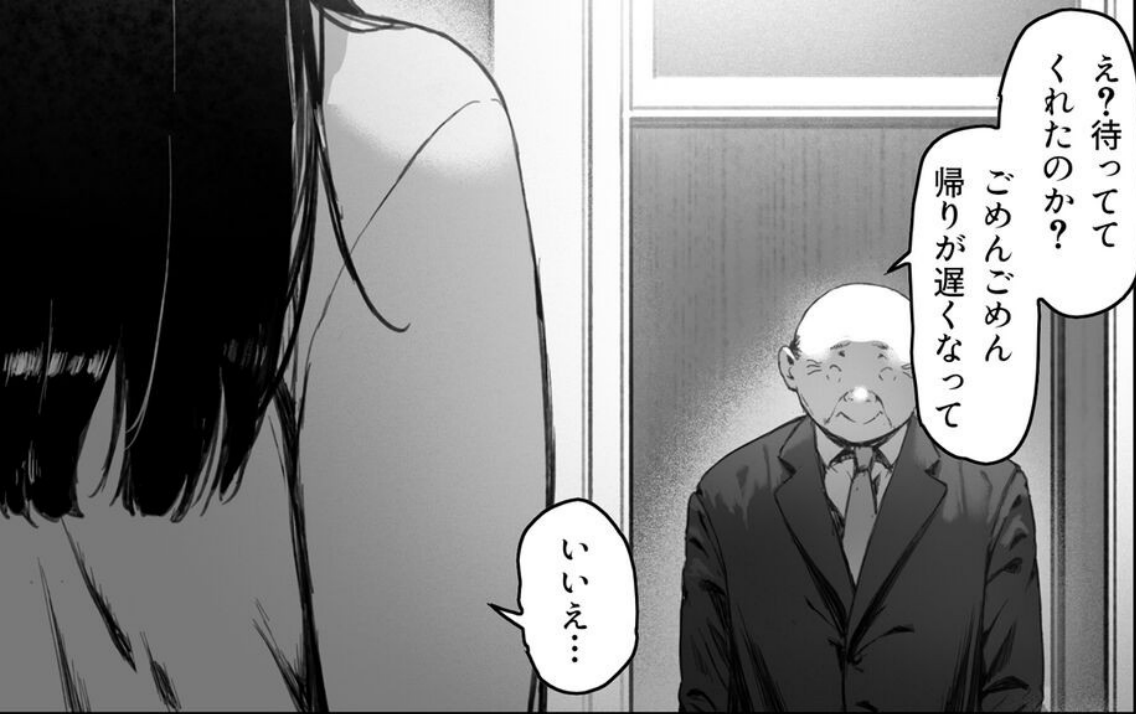
じゃあ、そろそろ
帰るよ



ふん……このエロおやじめ



酔っぱらっちゃったら
立つものも立たなくなっちゃう



え？待ってて
くれたのか？

ごめんごめん
帰りが遅くなって

いいえ…



どうしたんだ？
綾美さんから頼みごと
なんて珍しいじゃないか

ええ…
裕樹くんの会社がちょっと大変みたいで…
給料払ってもらえないって



実は…お父さんに
お願いしたいことが…



ほう？



祐樹くんは私が株で
儲けてると思ってるから…

あらら…そりや大変だ
で、どうするんだ？



そうか…いや…
助けたいのはやまやまなんだが
今の株投資ではせいぜい
生活費を稼ぐのが精一杯…

これ以上はリスクが高いぞ…



はい…どうしてもお金が
必要なので…これから…

どんな「お手伝い」でも
します…



はい…分かってます…

…だから…その…

中に…出さないなら…
本番…してもいい…



何とか…
お願いします！

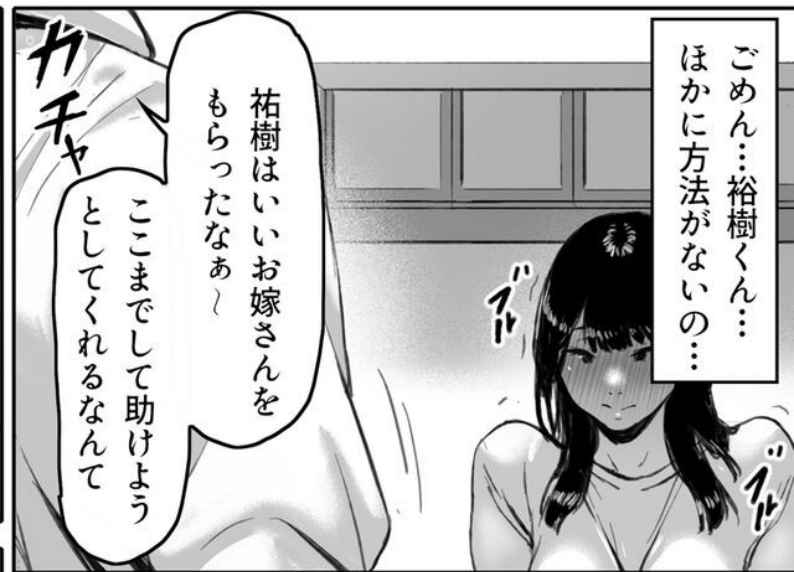
まあ…
そこまで言うんなら
断れないな

俺もこの家のために
一肌脱がないとな



今さら何だ？

俺は今酔っぱらってるが
酒が覚めたら頼みを
聞くとは限らんぞ？



ごめん…裕樹くん…
ほかに方法がないの…

祐樹はいいお嫁さんを
もらったなあ

ここまでして助けよう
としてくれるなんて



さあ
行こうか

わかりました…



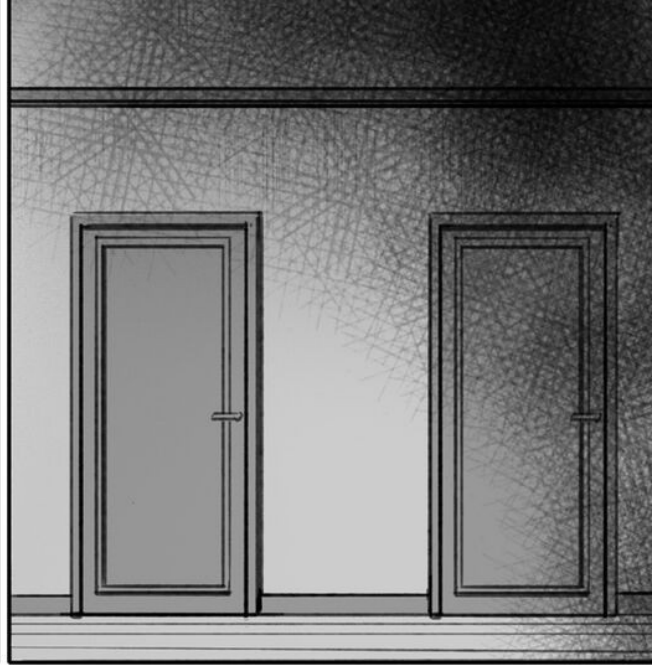
じゃあ
早速部屋に行こうか

え？今すぐですか？
でも…
隣の部屋には祐樹くんが…？



一日空いたけど
やり方覚えてるよな？

やあ…
今日はもうできないと
思ってたが



お義父さんの前で裸になるのは
慣れているはずなのに…
何…この感じ…

ソクソク

ソクソク

ソクソク

よしよし
じゃ始めようか



はい



はっ…

今日は特に…
臭い…



お酒と…そして…
汗の匂いが混ぜこぜ…



ああ…さすがだ
もうこんな
ビンビンだ…



どうやらこいつも
綾美さんのサービスを
恋しがっていたんだろう

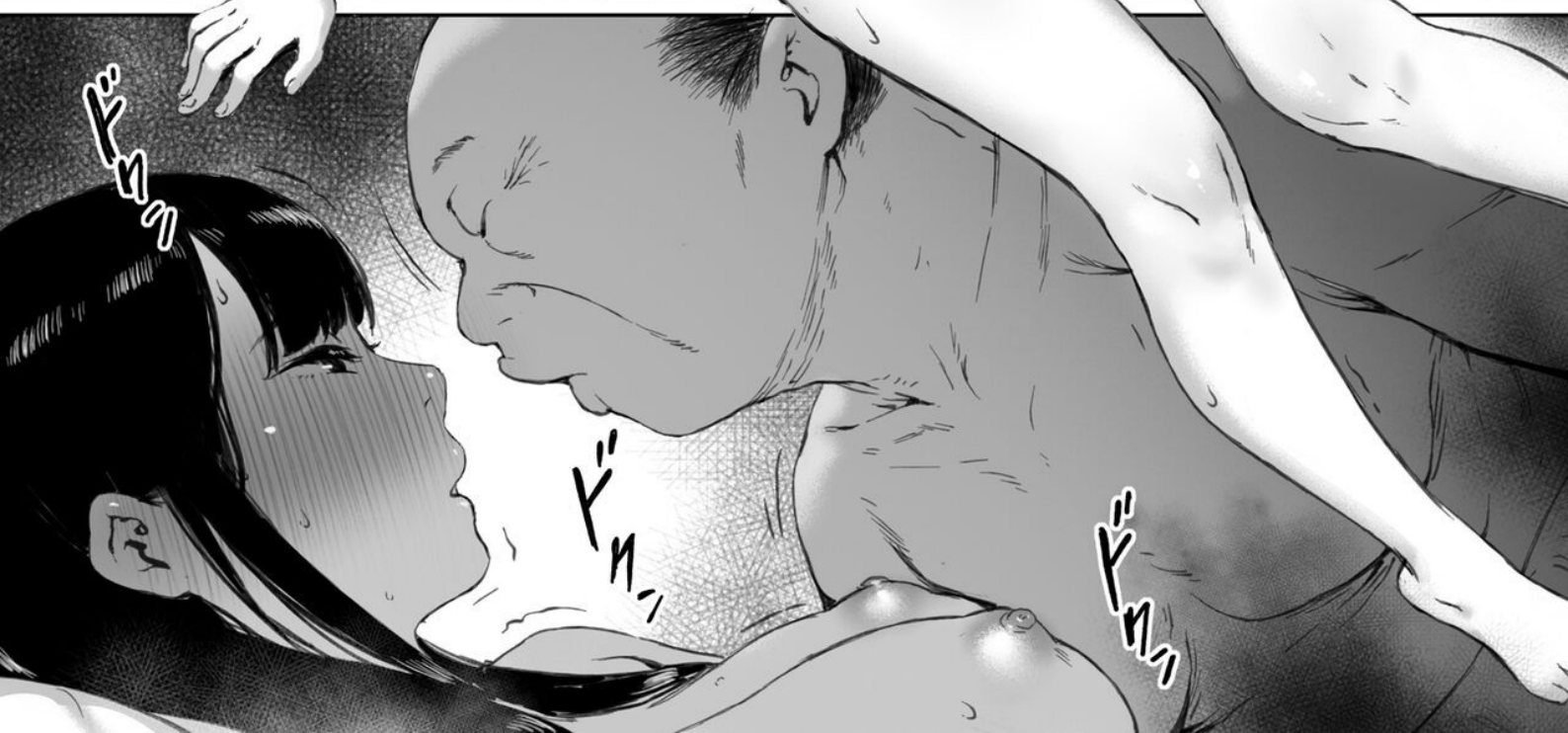
さあ〜続けてくれ

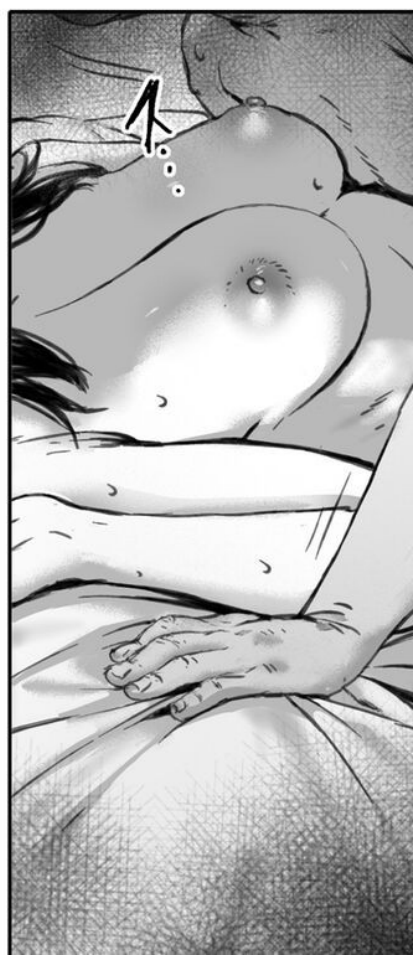


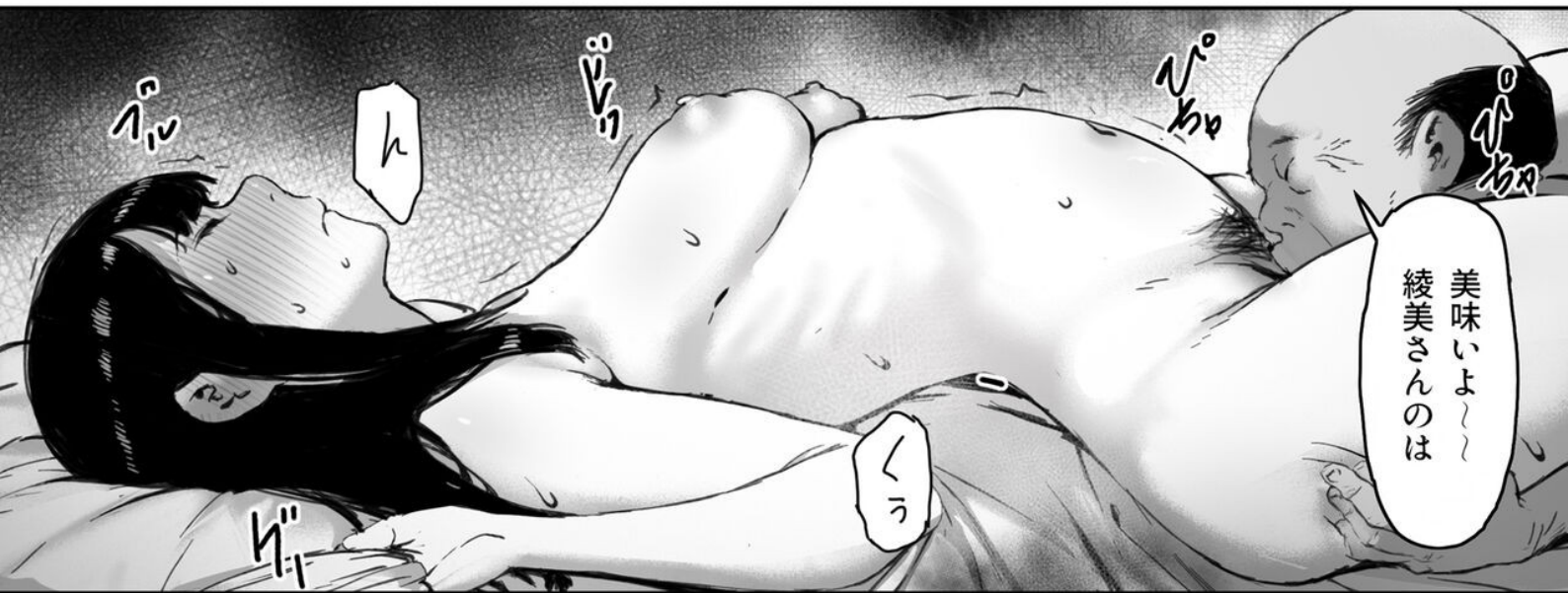
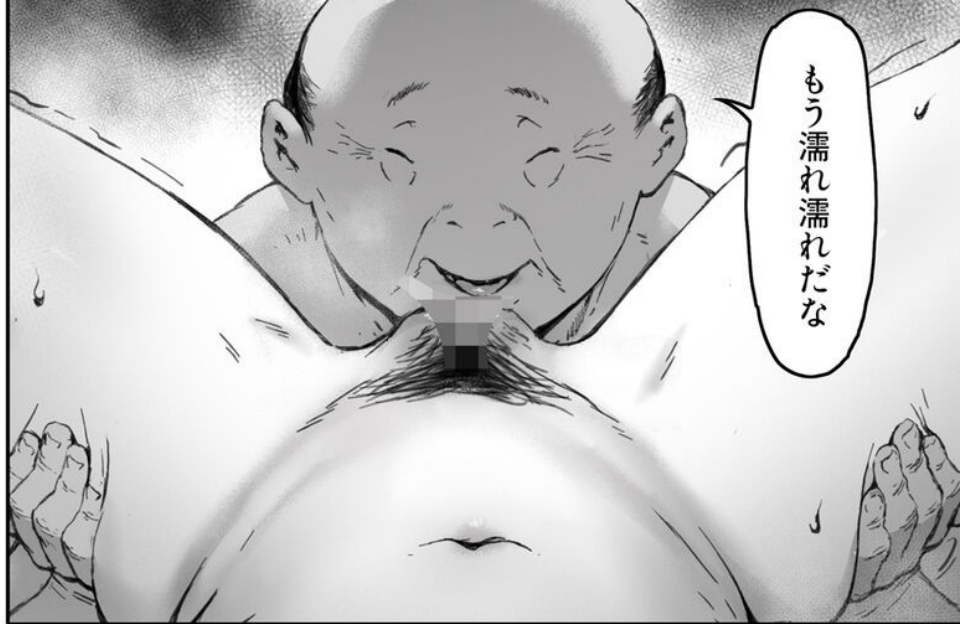














このオヤジ…
体だけじゃなく…

らやっ！
そっは…



いいぞ～いいぞお
もつとよく見えるように
脚を開いてくれ



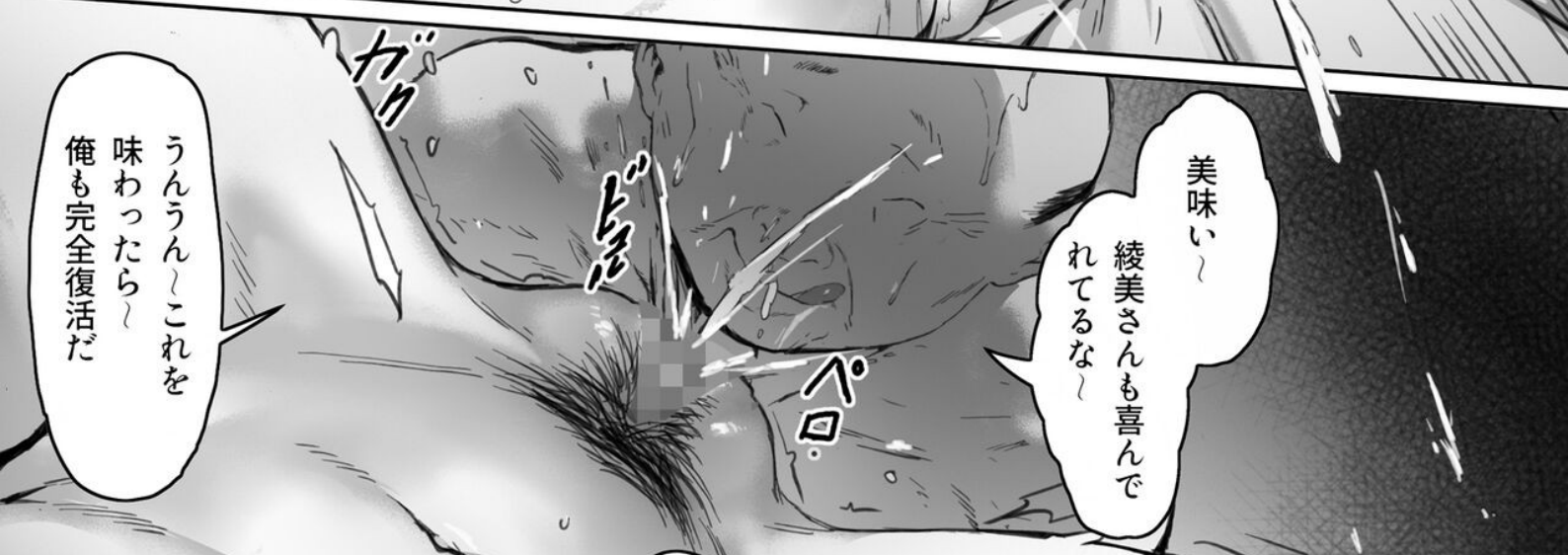
あちや～違うなあ～
でも知ってるぞ
こんな声のはずないよな

私の心をもてあそんでる…



もつと深く～
ここだね～

いつやああ！
だめえ…っ！！



うんうん〜これを
味わったら〜
俺も完全復活だ

美味い〜
綾美さんも喜んで
れてるな〜



もう…だめ…
私おかしくなっちゃう…

いやあ…
お待たせしました〜
年取ってるから
こうでもしないと
始まらないんだ

じゃあ〜
入れるよ

は…はっ…
やっ…



まだなにかする
つもりなの?!
早く...入れてよ!

なんで...
もたもたしてるのよ!



んん...すまんな...
なんか...もつと雰囲気
出したいと思ってるな...



もう我慢できない…お願い…
綾美の濡れ濡れおマンコ…

お義父さんの…硬くて大きい…
おチンチンを…

奥まで…入れてください

ぐにーい…

うん…
そうかそうか…
入れてほしいのかあ…

じゃあ
入れるぞお…

ぐにーい…

ぐにーい…



いい締め具合だなあ

やめて...っ...そんなこと...
言わないで...っ



ああ...
こんなに硬くて...



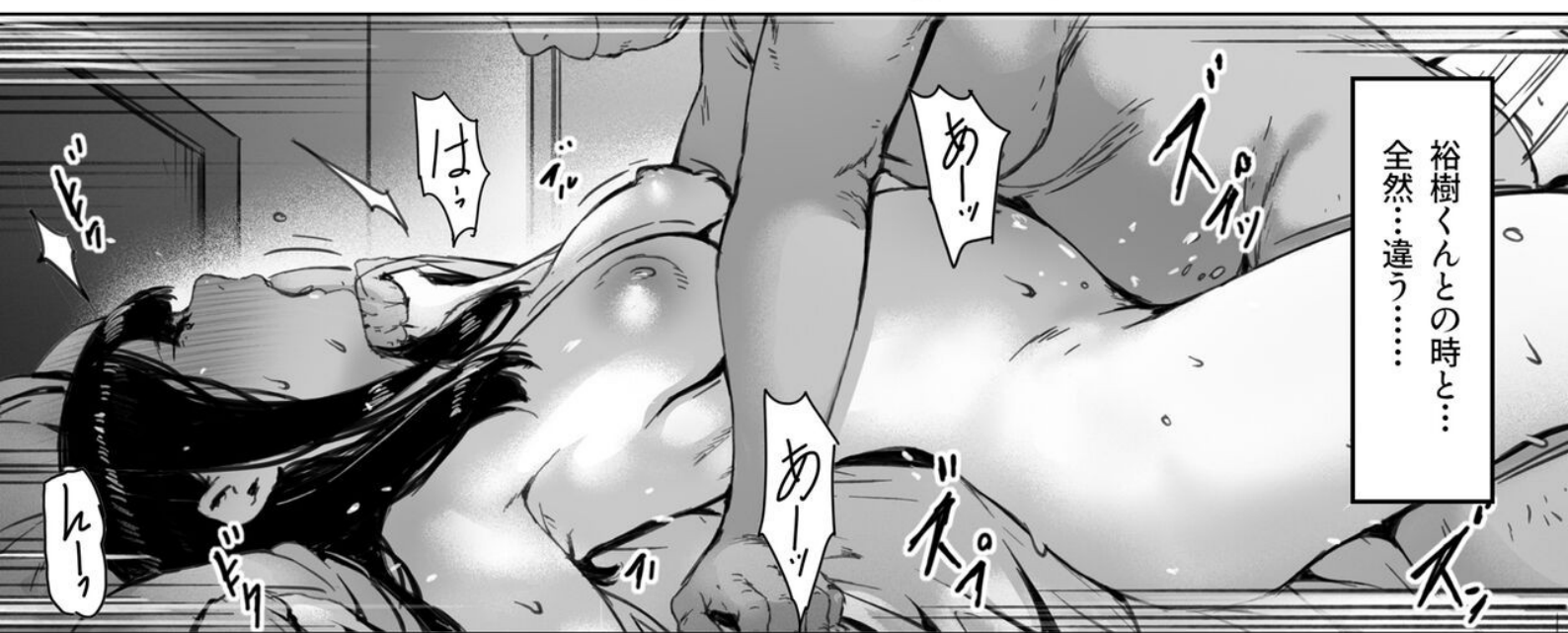
だめ...
私また...!



何で!?!...
さっきより大きくなって...

アッ

アッ



裕樹くんとの時と...
全然...違う.....



セックスって
こんなに...激しいの...!?

このままじゃ
私...

アッ

んっ



私…また…



ごめん…裕樹くん…



もっと楽しまなくっちゃ



家を助けるためだからって
一人だけ苦勞することないさ

いいんだよ

ドロツ

キユツ



はーッ

遊びで楽しむのって
当たり前のことだろお？

ダメ…
聞いちやダメ！

スー



はーッ

大人にとっては
ただの遊びなんだよ

はーッ

スー

スー



あーッ

スー

この気持ちよさを
受け入れたらたら…

スー



あーん

さあ〜一緒に
気持ちよくなろうよ

はあ

あーッ

聞いたら…

パ

パ

は

パ



気持ちいいんなら
遠慮しないで声を
出してもいいんだぞ



ほら
全然気づいてない





また…いっちゃった…っ
さっきとは…また違う…



うん…そうよ…

我慢なんてする必要はない…
こんなに気持ちいいんだもの…



いい顔してるぞ〜
気持ちか吹っ切れたな

はッ

はあ

アッ

スッ

スーッ

スッ

アッ

あ

あッ!!



ほー

まあ…



すまん…年を取ると
疲れやすくなってるな

自分で動いてく
れないか?

はあ



今更…

はッ

スッ

アッ

はッ

んッ

ぶるん

スッ

もう何を考えても…
同じことよ…

はー

スッ

アッ



ああ気持ちいい
さすが綾美さん
物覚えが速いなあ

ほう…夢中になって
もう何も聞こえなくなってるな…



うん…こうやって…
自分で動かすと…

自分が一番気持ちいい
スピードで…



はー



一番気持ちいい
やり方でできる…

んッ

ああ…このまま…
快感に任せて…

は

ふるん

あん

んん

んん

は

んん

あ

おチンチン…を…
一番奥まで入れてると…

また…いける…!!

んん

んん

あああああ

んん

んん

んん

んん



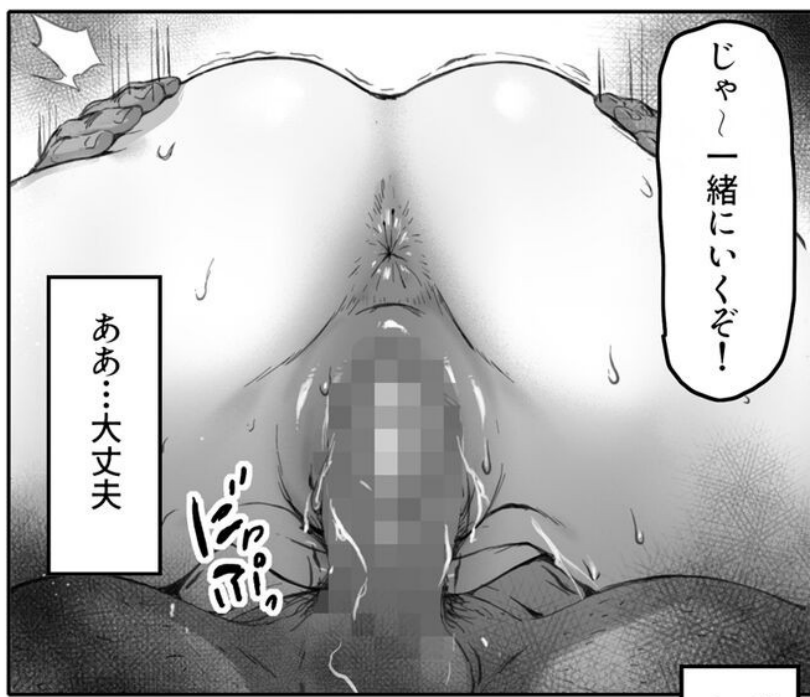
好きなんだなあ〜

綾美がおんなにやる気
満々なんだから
俺ももっと頑張らないとな



わがママを許して…
裕樹くん

はっ…う!



じゃ〜一緒にいくぞ!

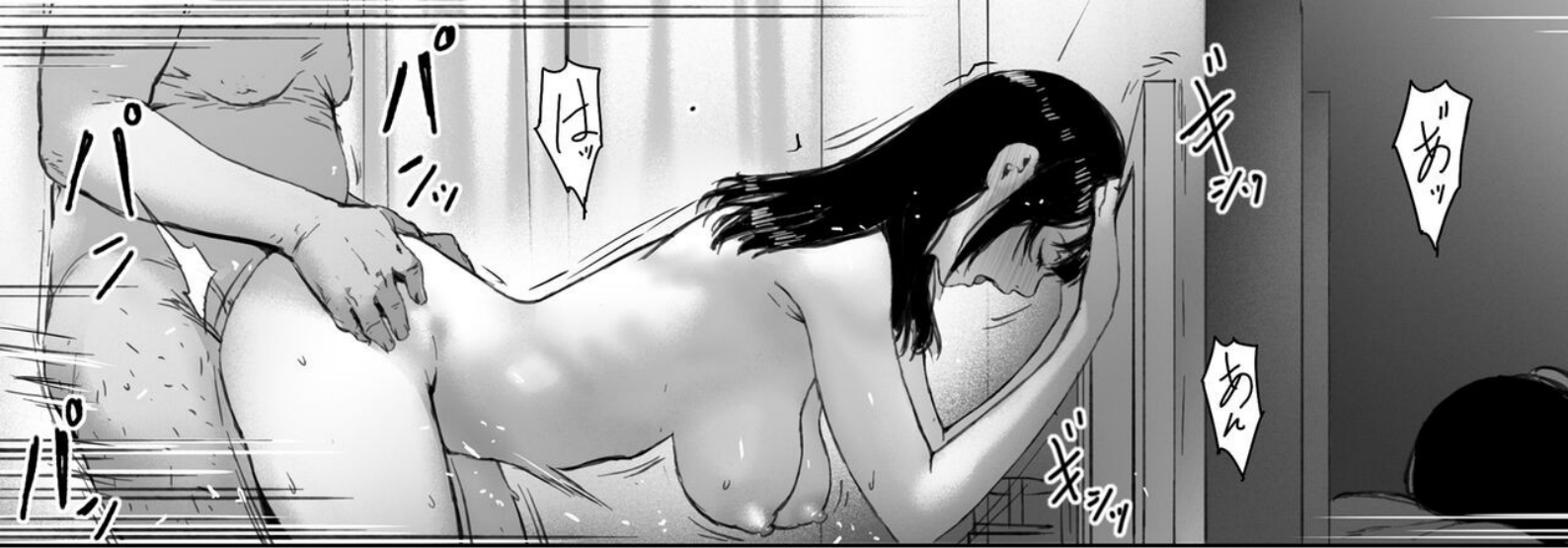
ああ…大丈夫

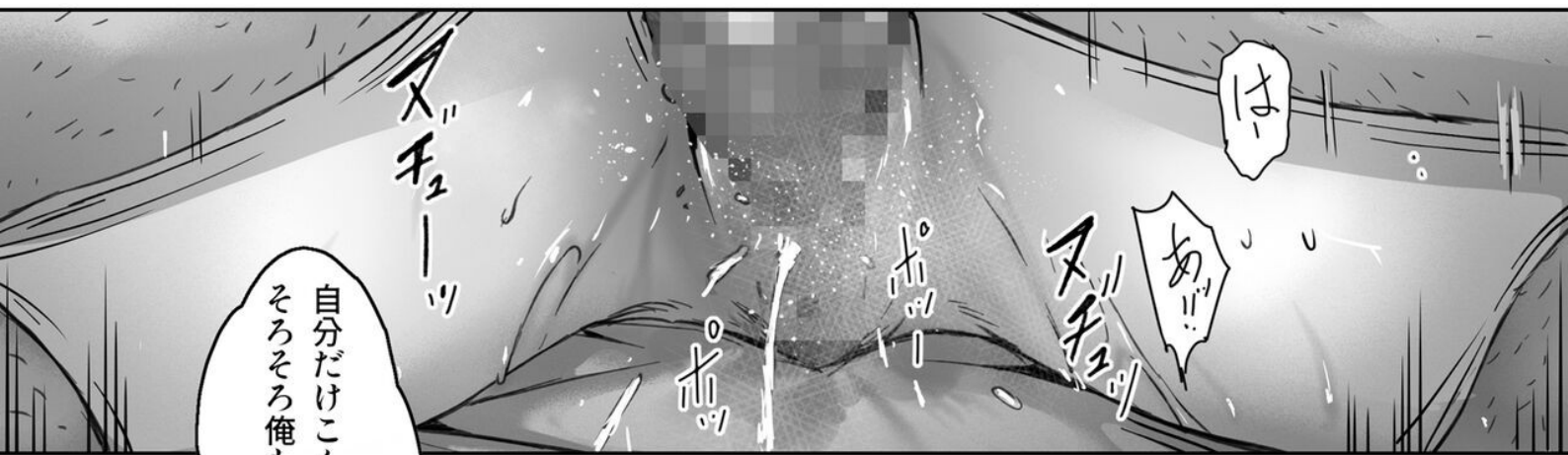


体はどうなっても…
心は許したりしないから…

だから…今は…







自分だけこんなにイッちゃってえゝ
そろそろ俺も気持ちよくなりたいな

ここっちを向いて

はい...

はあ

はッ



フフッ
気持ちいい?



こんなにいいおマンコは
手放せなくなるな...

このまま中に出したいな~

は...っ...は...
それだけは...ダメッ...



お願い…
それだけは…

へえ〜？俺のムスコを
こんなに締め付けて

本当は中に出して
欲しいんだろ？



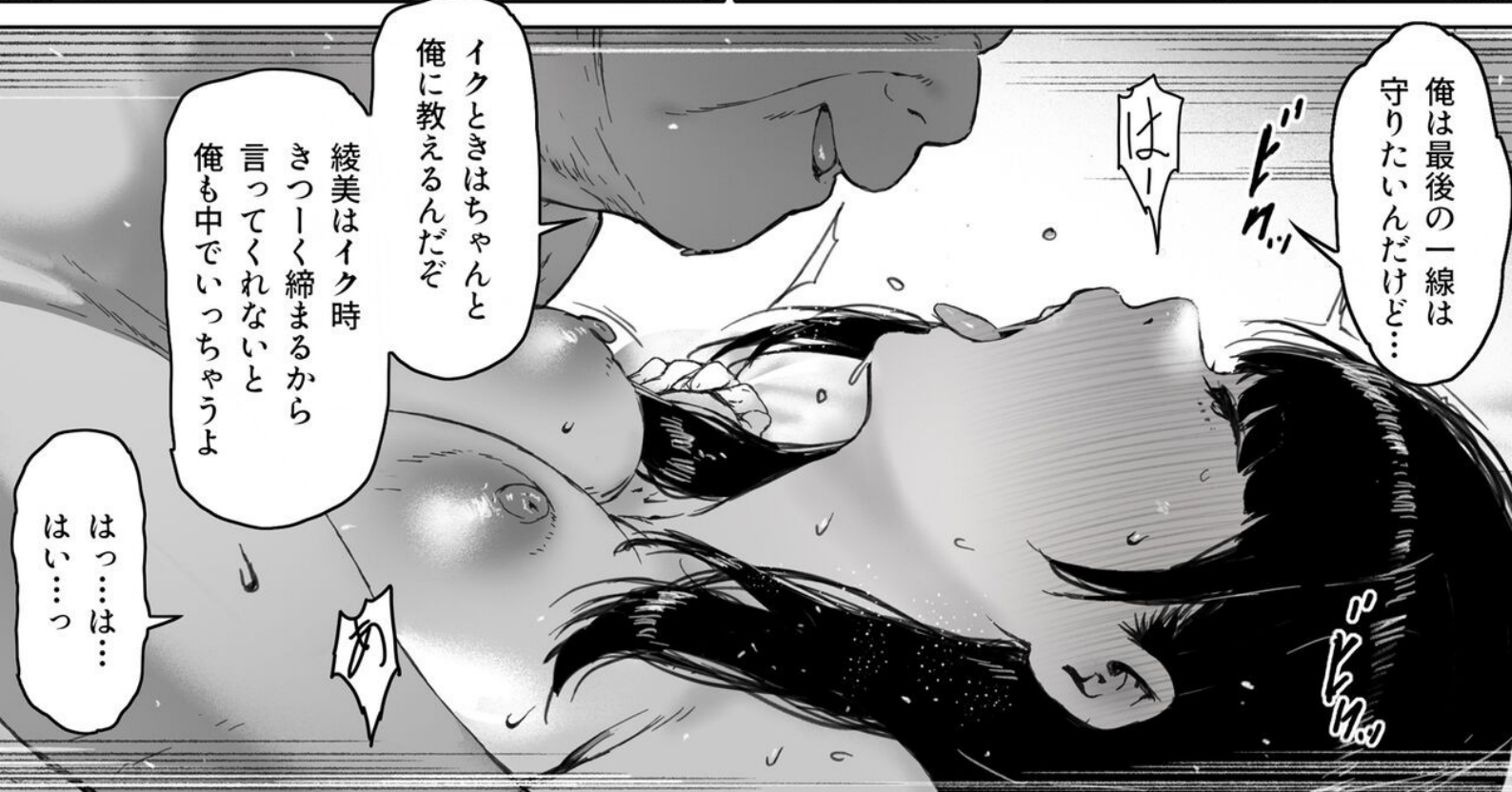
違う…私は…

違う…違う…
そんなんじゃない…

ほら〜
ますます締まってきたぞ！
そんなに中に欲しいのか？



い…やっ！やめて…っ



俺は最後の一线は
守りたいんだけど…

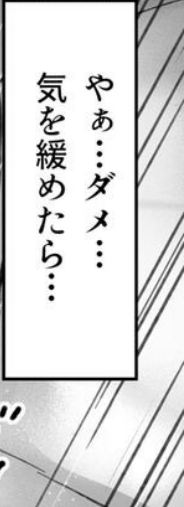
イクときはちゃんと
俺に教えるんだぞ

綾美はイク時
きつ〜く締まるから
言ってくれないと
俺も中でいっっちゃうよ

はっ…は…
はい…っ



あ…は…そね…
こすれば…安心で…
イツちゃう…



やあ…ダメ…
気を緩めたら…



何なの…
凄い…また!



はあ…もう…
い…いっ…イク…

じゃあ〜一緒に?



まだ…射精している…

なんて凄い量なの…



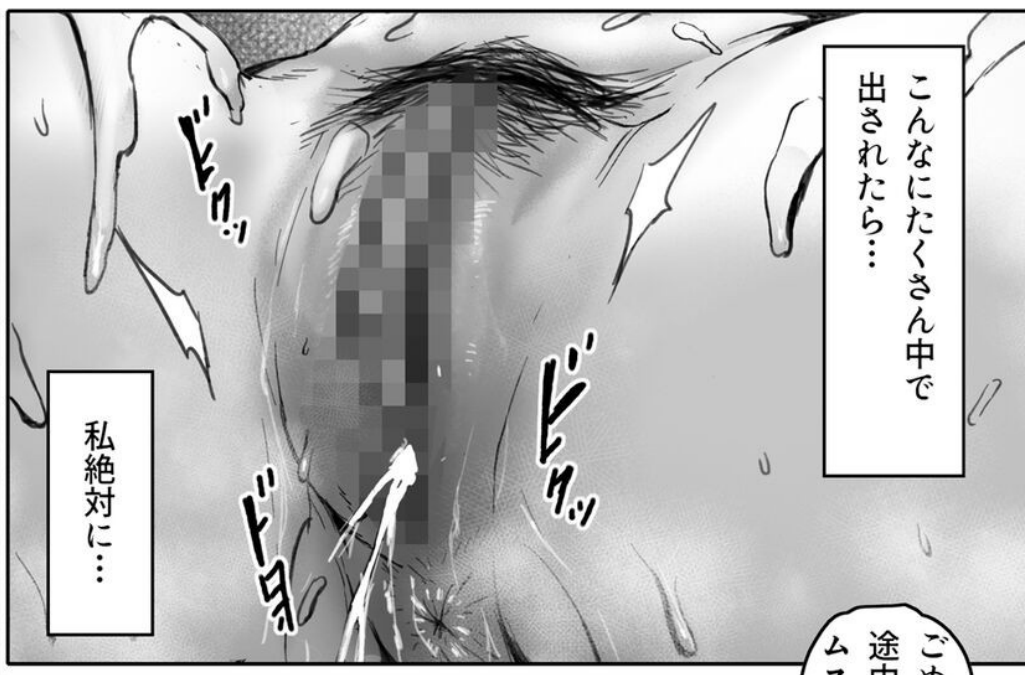
中出しされても...
私は何もできない...

フフフ...
ようやく止まった...
ないとこだったあ
気を付けないと
中出しちゃうかもしれない

はー
はー
ガ
ガ
はー
ガ



はー
はー



こんなにたくさん中で
出されたら...

私絶対に...

ドド
ビーン



ごめんね
途中で抜いたから
ムスコがべとべとだ

きれいにしておくれ

ビーン





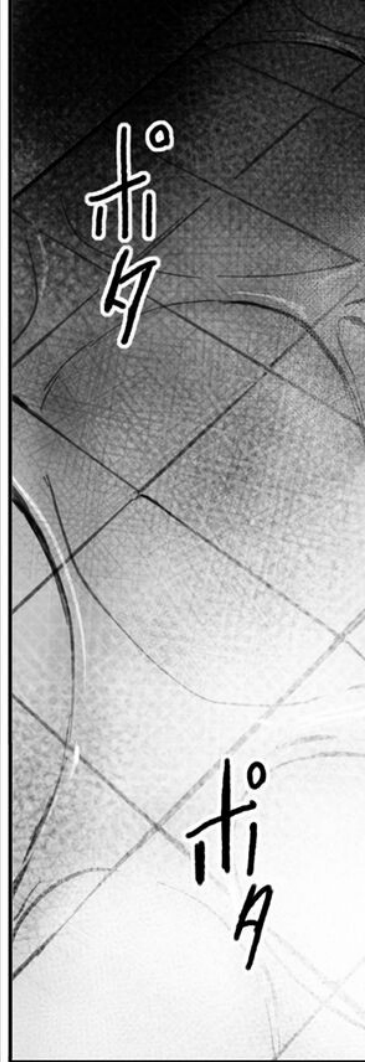
ポニヤ...



ポニヤ

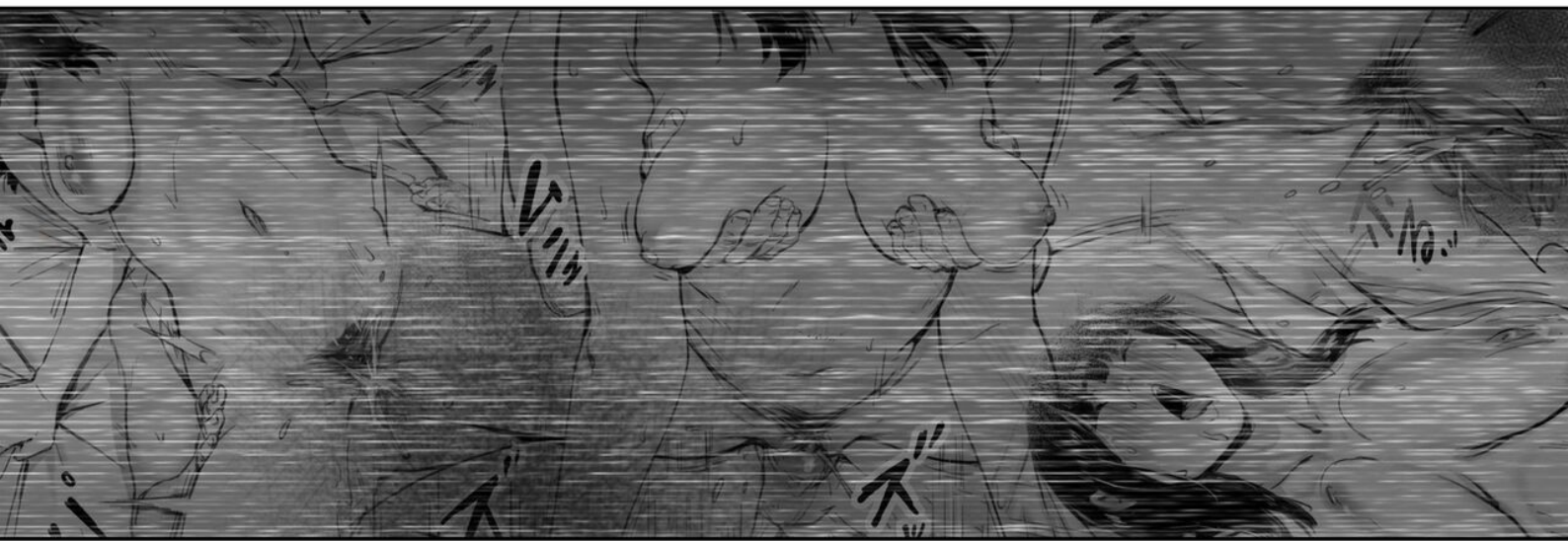
ポニヤ

ポニヤ



ポニヤ

ポニヤ



疲れてて...
義父に流されてただけ!

違う...!



ちゅっ

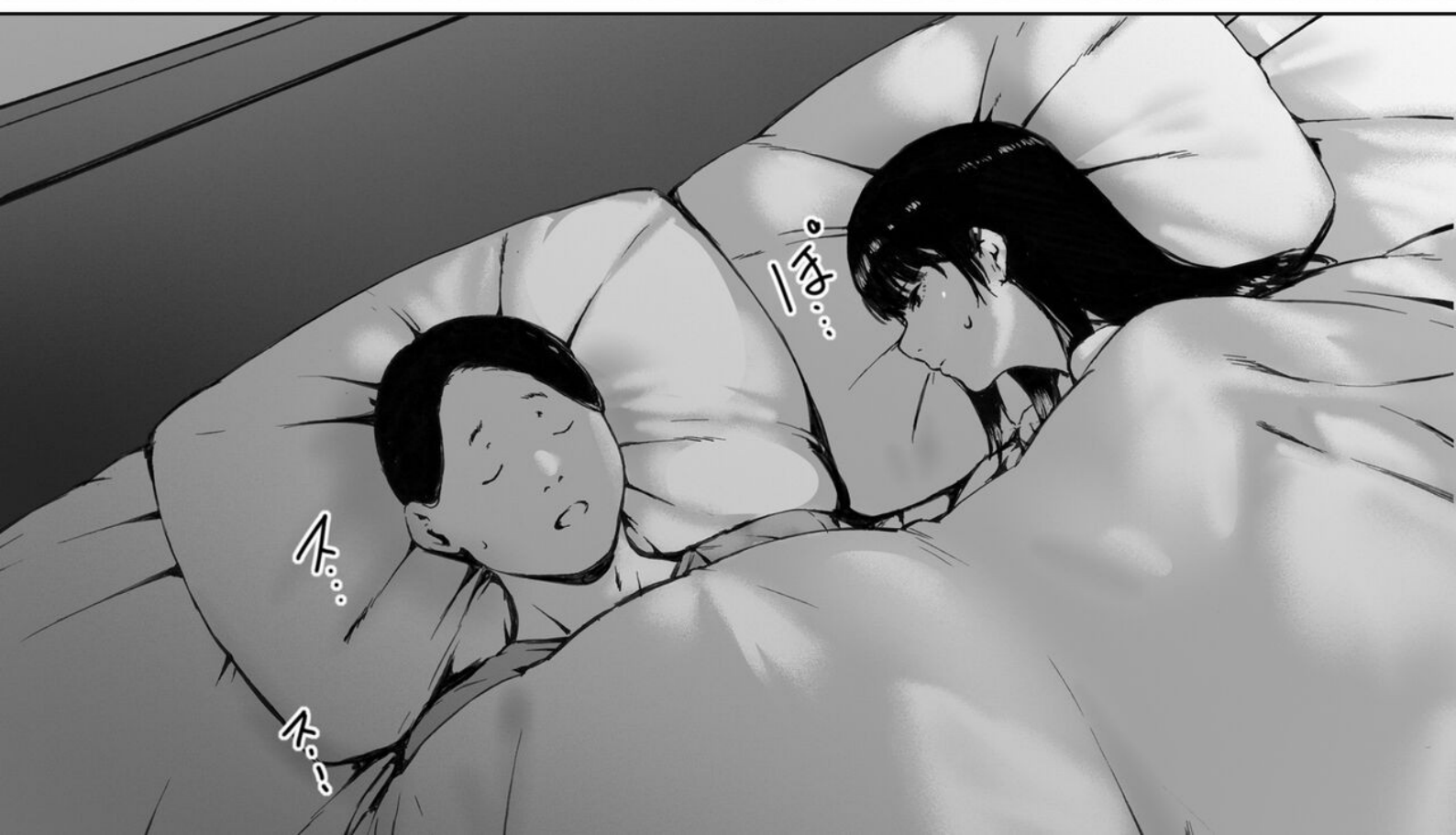


そう…変態行為もセリフも
すべてはお芝居なのよ!

キレイに洗わなきゃ…

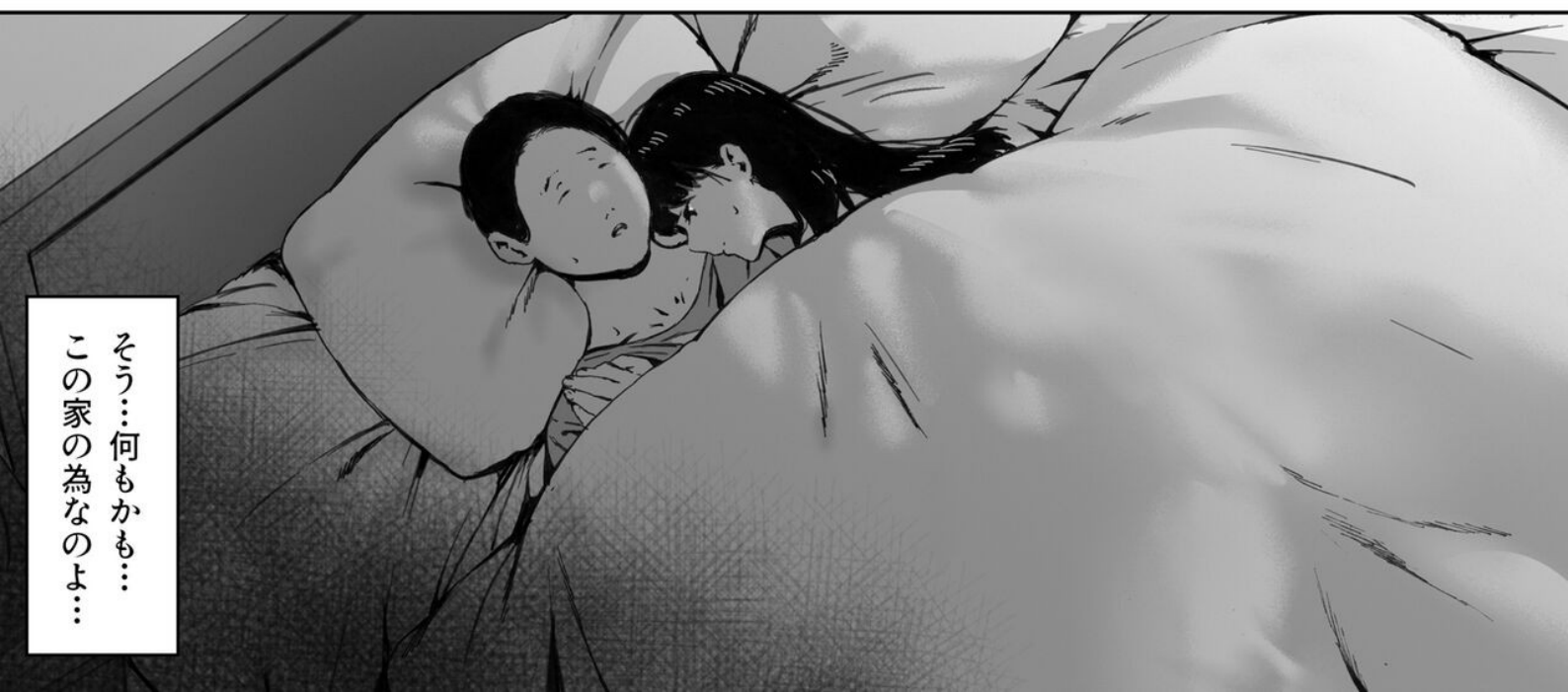
絶対にそんなはず…

ポタ
ポタ
ポタ



ん…
ん…
ん…

ん…



無理しないでね!

そんな簡単に
負けられないよ!

さすがは俺の息子だ!
そう来なくっちゃ!
綾美さんの思いを
無駄にするなよ

当たり前だろ!

ん?

父親が息子を応援するの
は当たり前じゃないか

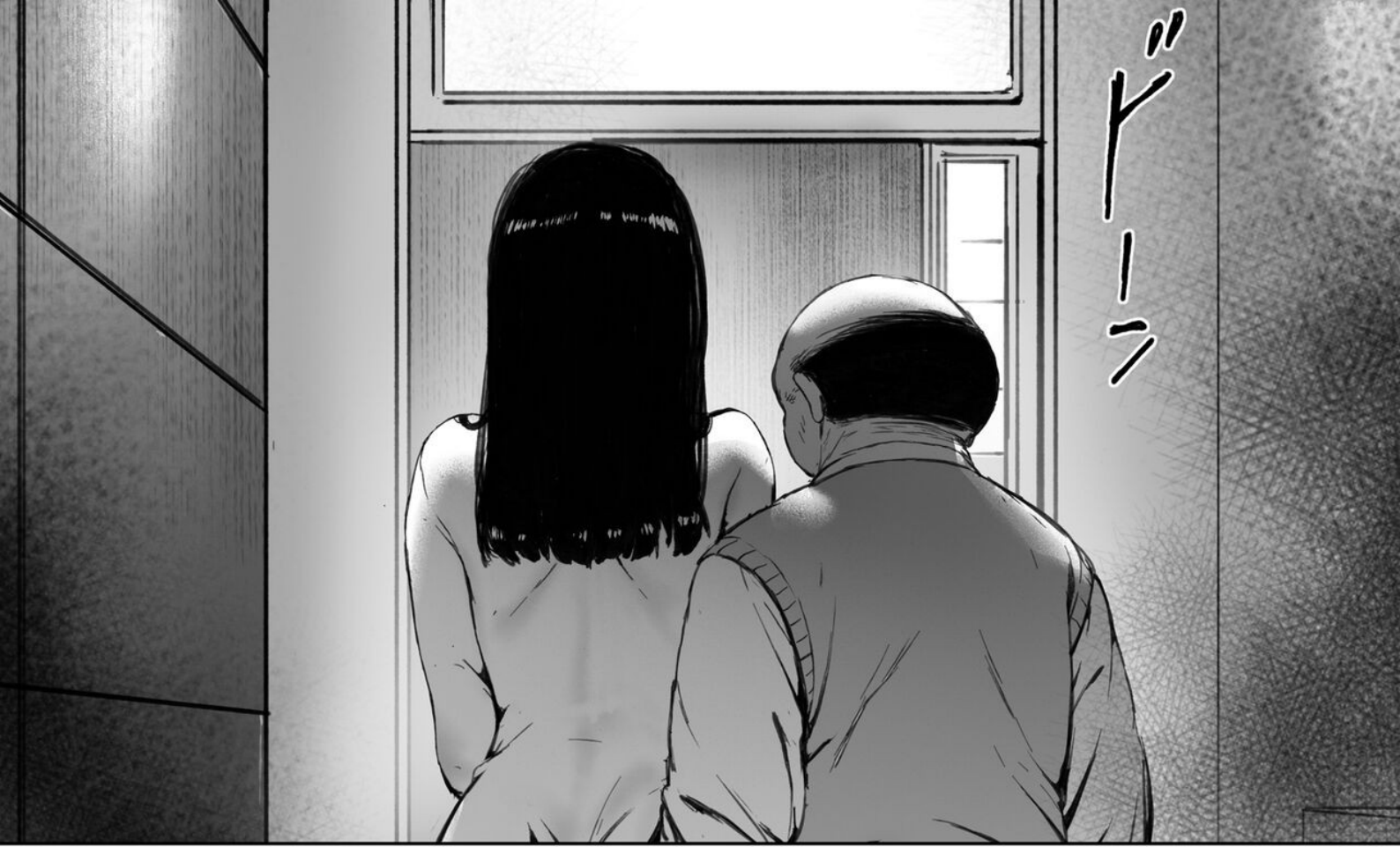
はは...

じゃあ
行ってきます

綾美、ごめんね
オヤジの面倒まで見てもらって

まったく
なんで二人で俺を送り出すんだよ

ううん...
らってらっしゃい



5
6
7